

施策番号	0101	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	地域ぐるみの健康づくりを展開し、区民の健康づくりを支援します	健康づくりに取り組んでいる区民の割合	%	目標	62.0	61.0	63.0
				実績	59.4	65.2	64.0
		65歳健康寿命	歳	目標	男81.12 女83.26	男81.17 女83.31	男81.22 女83.36
				実績	男80.56 女82.51	男80.71 女82.54	男80.83 女82.65
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

	事務事業	担当課	区分	頁
計画	区民健康づくり支援	地域保健課	◎	2
計画	受動喫煙対策の推進	健康づくり課	◎	4
計画	自殺対策事業	保健予防課	◎	6
計画	グループ健康づくり支援	青戸保健センター	◎	8
	区民保養施設提供事業	地域振興課	◎	10
	音楽訓練教室	地域保健課	◎	12
	健康相談窓口	地域保健課	◎	14
	公害認定患者家庭療養指導事業	地域保健課	◎	16
	ぜん息教室	地域保健課	◎	18
	ぜん息児水泳教室	地域保健課	◎	20
	働く世代への総合的な健康づくり支援	地域保健課	◎	22
	薬物乱用防止啓発	地域保健課	◎	24
	栄養指導事業	健康づくり課	◎	26
	健康教育関連事務（学校保健との連携）	健康づくり課	◎	28
	高齢者に対する栄養指導	健康づくり課	◎	30
	歯科健康教育	健康づくり課	◎	32
	熱中症予防対策（保健所）	青戸保健センター	◎	34
	熱中症予防対策事業（高齢者）	高齢者支援課	○	36
	衛生統計調査事務	地域保健課	○	37
	健康医療推進協議会	地域保健課	○	38
	保健所管理運営	地域保健課	○	39
	国民健康・栄養調査	健康づくり課	○	40

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	区民健康づくり支援						担当部	健康部	関係課	健康づくり課、保健センター、生涯スポーツ課
							担当課	地域保健課		
開始年度	平成14年度						個別計画	—		
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(6)
事務事業目的	区民が自らの健康を意識し、健康づくりに取り組むきっかけを作るとともに、健康づくりを実践・継続している区民をさらに増やす。									
実施内容	<p>①健康大学・まちかど健康相談等 健康に関する情報に触れる機会が増えるよう、新型コロナウイルス感染症対策として、健康に関する講義は、健康に関わる各分野の専門家が作成した資料や動画を葛飾区ホームページに掲載したほか、笑い健康講座をWeb開催した。また、区内公共施設でパネル展示を行った。</p> <p>②健幸（健康幸福）マイレージ 健康習慣の定着を促進するため、健康目標を立て、ウォーキングや体操などの日々の活動や健康診査等の受診によりポイントを貯め、抽選で健康関連グッズなどが当たる事業を実施した。応募期間を3回に分け、令和2年5月と9月及び令和3年2月に抽選を行った。</p> <p>③かつしか健康チャレンジ事業 専用の活動量計やスマートフォンにて、歩数、歩行時間、消費カロリーなどを計測し、専用のサイトで日々の活動量等を確認しながら、健康習慣の定着を図った。また、参加者のモチベーションの維持・向上のために、歩数送信拠点を巡るスタンプイベントやウォーキングイベントを開催した。</p> <p>④ウォーキングマップの作成・ウォーキング大会の開催 気軽にウォーキングを楽しむきっかけとなるよう、かつしかウォーキングマップを活用したウォーキングイベントを開催した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	健康づくりに取り組んでいる区民の割合	政策・施策マーケティング調査	%	目標	63.0	61.0	63.0
				実績	59.4	65.2	64.0
活動	健康大学受講者数	健康大学参加者の延べ人数	人	目標	—	300	310
				実績	—	390	124
活動	まちかど健康相談参加者数	まちかど健康相談参加者の延べ人数	人	目標	—	1,900	1,900
				実績	—	1,811	160
活動	健幸マイレージ事業応募者数	健幸マイレージ事業応募者の延べ人数	人	目標	—	400	450
				実績	—	578	680
活動	健康チャレンジ事業参加者数	健康チャレンジ事業参加者の人数	人	目標	—	1,000	1,500
				実績	—	911	1,223
活動	ウォーキングマップを活用したウォーキングイベント参加者数	ウォーキングマップを活用したウォーキングイベント参加者の人数	人	目標	—	400	400
				実績	—	105	410

コスト内訳 (千円)			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	2,318	2,305	2,003
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	39,435	45,951	35,465	
支出	直接事業費 (b)	9,365	13,530	11,278	
	職員人件費 (c)	32,388	34,726	26,190	
		業務量 (人)	4.20	4.42	3.38
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	3,960	3,924	3,154	
	減価償却費	0	0	0	
		金利	0	0	0
		退職給与引当	3,960	3,924	3,154
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	45,713	52,180	40,622		

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数(人)		
実績数値 (g)	3,944	3,795	2,597
単位あたり区単コスト (a/g)	9,999	12,108	13,656
単位あたりコスト (f/g)	11,591	13,750	15,642

実施状況に対する評価	<p>健康に関する講義や講演会は、新型コロナウイルス感染症の流行により、対面形式での開催から、講師が作成した資料や動画を区公式サイトにアップすることで、引き続き、区民が自ら健康を意識し、健康づくりに取り組むきっかけ作りをすることができた。健康相談についても、コロナの感染リスクを考慮し対面での実施は中止としたが、区イベントでパネルを展示し、健康に関する情報を発信した。</p> <p>健幸マイレージ事業と健康チャレンジ事業の参加者数は、年々増加し、またリピーターもいることから、健康習慣の定着化が進んでいると思われる。そこで、健康チャレンジ事業と健幸マイレージ事業については、健康習慣のきっかけづくりだけではなく、より参加者の健康増進に効果的な事業内容に転換していく必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>各種健康に関する啓発については、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら実施する。状況によってはオンラインや動画の配信等により人を集めない方法で実施するが、より多くの区民に視聴してもらえるよう周知方法を検討しながら実施していく。</p> <p>また、身体と口の健康状態を把握するため各種健康診査を活用し、関係機関と連携しながら健康寿命の延伸に取り組む。さらに、ICT等を活用し、スポーツや介護予防分野と連携しながら総合的な健康づくり事業を実施していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	受動喫煙対策の推進					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	平成21年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法、東京都受動喫煙防止条例									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(9)
事務事業目的	健康増進法第25条に基づき、望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙に関する知識や意識に関する普及啓発を行い、受動喫煙の防止に必要な環境の整備等に努める。									
実施内容	<p>【概要】 たばこの健康への影響について普及啓発を行うことで、受動喫煙対策を推進している。健康増進法の一部を改正及び東京都受動喫煙防止条例の令和2年4月の全面施行にともない、多数の方が利用する施設や、喫煙に対する規制について普及啓発を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店頭に掲げるステッカーを配布するとともに、区のホームページでも情報提供 ・健康増進法の一部を改正する法律及び東京都受動喫煙防止条例の全面施行を普及啓発するにあたり、チラシやパンフレットを作成し、受動喫煙専用窓口を設置。受動喫煙専用窓口では、既存特定飲食店の喫煙可能室（店）の設置届出書等の受理 ・事業者からの相談に対して、アドバイザーの派遣を行い、現地での相談対応、喫煙室の技術的適合性の測定 ・標識掲示が義務化されたことに伴い、区内3,047件の飲食店に対して、標識確認の巡回業務を行い、標識、チラシの配布を実施 ・広報などで、たばこの健康影響について普及啓発 									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	受動喫煙対策の体制を整えている店舗の数	店頭表示ステッカーを貼付している店舗の数	店	目標	—	1,750	2,700
				実績	—	未把握	2,056
活動	広報回数	広報かつしか等への掲載回数	回	目標	6	6	6
				実績	3	4	2
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	19	57	26
		都道府県支出金	0	10,049	15,911
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	1,026	1,099	7,388	
支出	直接事業費 (b)	18	10,178	15,915	
	職員人件費 (c)	1,027	1,027	7,410	
		業務量（人）	0.13	0.13	0.95
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	130	117	903	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	130	117	903	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	1,175	11,322	24,228	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	禁煙・分煙推進店舗登録制度の登録店数（店）		
実績数値 (g)	65	68	—
単位あたり区単コスト (a/g)	15,785	16,162	—
単位あたりコスト (f/g)	18,077	166,500	—

実施状況に対する評価	<p>令和元年9月1日から飲食店は標識掲示が義務化され、それにもない令和元年8月に飲食店に向けて、パンフレット及び喫煙状況を示す標識を送付した。令和2年度は、令和2年6月より、区内3,047件の飲食店に対して標識確認の巡回を行った。そのうち、標識を掲示している店舗は、2,056件であった。巡回した飲食店（テイクアウト専門店を除く）2,916件に対して、約70.5%の店舗が標識を掲示していることを踏まえると、一定の効果があつたと考えられる。また、令和2年11月より2回目の巡回を開始したが、喫煙可能室（店）の設置届出書の受理件数が、10月から11月、11月から12月では、それぞれ倍増しているため、標識掲示や喫煙可能室（店）の普及啓発に寄与したと考えられる。</p>
今後の方向性【継続】	<p>令和3年度も、受動喫煙専用相談窓口を設置して問い合わせ対応するとともに、必要に応じてアドバイザーを派遣する。また、令和3年度は、オリンピック・パラリンピックの開催を控えているため、望まない受動喫煙が生じないように、引き続き、規制内容の周知を徹底するとともに、たばこの健康影響についての知識について普及啓発していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	自殺対策事業						担当部	健康部		関係課	保健センター
							担当課	保健予防課			
開始年度	平成23年度						個別計画	—			
根拠法令	自殺対策基本法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	3	説明等	5(10)	
事務事業目的	自殺を防止するための総合的な推進体制を構築する。 自殺予防に関する普及啓発を行う。 自殺対策を推進し、区民の認識を深めるとともに、相談支援体制を強化する。 自殺未遂者に対する支援を行うことにより、完遂を防止する。										
実施内容	1 経常内容 自殺予防についての正しい知識の普及と地域社会や職場の環境づくりのため、講演会、研修、リーフレット配布、キャンペーン実施等の啓発を行う。自殺の危険性に周囲の人が気づき、適切に対処するため、相談体制の整備、関係機関の連携、ゲートキーパー研修等を行う。また、医療機関と連携し、自殺未遂者の支援を行う。 2 自殺対策計画策定 自殺対策基本法に基づき、区においても令和元年度に自殺対策計画を策定した。今後、自殺対策計画に基づき、新規事業の実施を行う。										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	自殺死亡率 (人口10万対)	葛飾区における自殺者数 ／人口10万	人口10万 対	目標	18.5	17.8	17.6
				実績	20.0	22.7	19.2
活動	講演会の開催	開催回数	回	目標	2	2	3
				実績	2	2	3
活動	リーフレット等の作成・配布	作成・配布したリーフレット等の数	部	目標	8,000	8,000	8,000
				実績	12,000	8,000	8,000
活動	ゲートキーパー研修の実施	開催回数	回	目標	5	6	6
				実績	6	4	10
活動	ゲートキーパー育成数	ゲートキーパー研修受講者の総計	人	目標	1,300	1,800	2,200
				実績	1,741	1,990	2,357
活動	ゲートキーパー研修の受講者数	当該年度にゲートキーパー研修を受講した人数	人	目標	220	350	210
				実績	310	249	367
活動	救急病院との連携	連携病院数	数	目標	3	3	3
				実績	2	2	2
活動	相談窓口連携会議の運営	開催の有無	—	目標	運営	運営	運営
				実績	—	—	運営
活動	自殺対策連絡協議会	開催の有無	—	目標	運営	運営	運営
				実績	運営	運営	運営

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	2,192	1,816	862
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	8,354	7,366	13,141	
支出	直接事業費 (b)	3,529	2,961	1,699	
	職員人件費 (c)	7,017	6,221	12,304	
		業務量（人）	0.93	0.99	1.86
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	830	441	1,045	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	830	490	1,045	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	11,376	9,623	15,048	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	ゲートキーパー研修受講者数（人）		
実績数値 (g)	310	249	367
単位あたり区単コスト (a/g)	26,948	29,582	35,807
単位あたりコスト (f/g)	36,697	38,647	41,003

実施状況に対する評価	<p>本区は、令和2年3月に自殺対策計画を策定し、5つの基本施策、4つの重点施策を掲げて「誰も自殺に追い込まれることのない いのち支える葛飾区」を目指して各事業に取り組んでいる。</p> <p>自殺対策連絡協議会を书面開催（2月）、葛飾区自殺対策検討分科会をオンライン開催（12月）で実施するほか、新たに葛飾区自殺対策相談窓口連携会議（3月）を立ち上げ、自殺対策推進に関する協議を行った。</p> <p>令和2年度は自殺対策計画に基づく事業推進の初年度であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のために対面式の講演会や研修会を避け、インターネット動画配信を行うなど工夫することで、計画どおり開催することができた。ゲートキーパー研修受講者数は目標数を上回り、367人であった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>令和3年度の重点的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自殺対策を支える人材の育成 地域団体向けにゲートキーパー研修を企画し、自殺対策（＝生きることの包括的支援）に対する理解・協力を求め、地域の支えとなる人材を育成する。 ●自傷行為、自殺未遂、自死遺族に関する支援を行うため救急医療機関等と積極的に連携する。 ●自殺を防止するためには、保健、医療分野だけでなく、教育、保育、経済、福祉などのあらゆる分野において自殺を防ぐ仕組みを持つ必要がある。自殺対策相談窓口連携会議において課題を共有し、全庁的な支援体制を構築していく。

事務事業評価表

事務事業名	グループ健康づくり支援					担当部	健康部		関係課	健康づくり課、 金町保健センター
						担当課	青戸保健センター			
開始年度	平成17年度					個別計画	—			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(7)
事務事業目的	健康づくり推進員を中心としたグループやその他の自主グループ活動の支援を通して、地域住民の健康を向上させる。									
実施内容	<p>新型コロナウイルス感染症感染予防のための対応が活動全般に影響した年度であった。</p> <p>①健康講座・出張健康講座は申し込みは60講座あったが、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言が出されたため中止の申し出があり、開催は21講座となった。</p> <p>②フレイル予防を目的とした地域健康づくり講演会を企画したが、上記同様の理由で中止した。</p> <p>③地域の自主グループ、町会や高齢者団体等の既存の組織団体に対する健康づくりに対する支援は、今年度は10グループに対し支援した。</p> <p>④「健康づくり推進員」との協働事業の実施 健康づくり推進員と協働した健康づくりの活動は、例年実施してきたかつしか健康食育フェアが中止となった。その代わりとして、R2年11月30日～12月25日の間健康情報発信コーナーに推進員の活動の情報を発信した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	健康づくりに取り組んでいる区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	62.0	62.0	62.0
				実績	59.4	65.2	65.2
成果	支援した自主グループの活動継続率	当該年度中に活動があり休止・解散していないグループ	%	目標	80.0	98.0	98.0
				実績	92.1	90.2	21.7
活動	健康課題に応じた健康講座の開催	地域や団体から依頼を受けた健康講座の開催回数	回	目標	75	75	75
				実績	116	79	21
活動	自主グループ活動支援	保健センターが支援を行う自主グループ数	グループ	目標	55	55	55
				実績	51	57	10
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	30,694	28,260	23,726	
支出	直接事業費 (b)	980	808	545	
	職員人件費 (c)	29,714	27,452	23,181	
		業務量（人）	3.92	3.56	3.05
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	3,540	3,015	2,698	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	3,540	3,015	2,698	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	34,234	31,275	26,424	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	支援を行った自主グループの延べ数、健康講座開催数、健康講座からの自主グループ育成数、既存の自主グループを支援した延べ数、町会や地域団体へのアプローチ数（回）		
実績数値 (g)	814	753	134
単位あたり区単コスト (a/g)	37,708	37,530	177,060
単位あたりコスト (f/g)	42,057	41,534	197,194

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化しやすい高齢者の方が運営しているグループが多いため、感染を恐れて活動することに慎重となるグループが多かった。</p> <p>例年の支援数より少なくなった。</p> <p>感染拡大防止策を実施しながら活動支援をおこなった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、「葛飾区感染拡大防止ガイドライン」「地域の行事・イベント・会議を実施する際の留意点」を踏まえ感染拡大防止策をとったうえで、活動支援を実施していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	区民保養施設提供事業				担当部	地域振興部			関係課	—
					担当課	地域振興課				
開始年度	昭和55年度				個別計画	—				
根拠法令	葛飾区区民保養施設提供事業実施要綱									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	5	説明等	1
事務事業目的	日常生活圏を一時的に離れ、休養やレクリエーションの機会を提供することにより、区民の心身の健康維持を図る。									
実施内容	<p>民間の旅行業者を活用して旅館・ホテルの一部客室を確保し、区民に安価で提供する。 利用申込受付業務について、旅行業者に委託している。はがき申込（公開抽選）のほか、空室については電話申込も受け付けており、土・日・祝日を問わず、また、来庁することなく手続きが可能である。利用料金は現地での支払いである。 令和2年度区民借上保養施設の内容は、借上施設数12施設（借上部屋数20室・定員110名）、利用料金はランク・人数別料金制をとっている。（例：3人利用で休前日8,000円から11,000円）</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	再度利用希望枚数÷アンケートはがき総枚数×100	%	目標	90	90	90
				実績	92.6	92.8	93.3
活動	部屋稼働率	部屋稼働数／部屋借上数×100	%	目標	70	70	70
				実績	80.2	75.5	38.0
活動	サービス提供回数	利用部屋数	室	目標	5,100	5,100	5,100
				実績	5,852	5,529	2,776
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	78,172	78,966	80,623
支出	直接事業費	(b)	75,802	76,596	78,283
	職員人件費	(c)	2,370	2,370	2,340
	業務量（人）		0.30	0.30	0.30
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	300	270	285
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		300	270	285
	(控)コスト対象外		0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	78,472	79,236	80,908	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	サービス提供回数（利用部屋数）（室）			
実績数値	(g)	5,852	5,529	2,776
単位あたり区単コスト	(a/g)	13,358	14,282	29,043
単位あたりコスト	(f/g)	13,409	14,331	29,146

実施状況に対する評価	<p>・国、東京都及び区の『新型コロナウイルス感染拡大防止対策』により、下記のとおり対応した。</p> <p>そのため、利用実績は例年のおよそ半分以下となった。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症に関わる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月9日～6月19日 緊急事態宣言発令により、空室受付中止。 ・令和3年1月8日～3月21日 緊急事態宣言発令により、空室受付中止。 ・令和3年3月22日～3月31日 「段階的緩和期間における東京都の対応」により空室受付中止。 ・はがき申込は7月宿泊分のみ中止。
今後の方向性【継続】	<p>【新型コロナウイルス感染症に関わる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況に応じた国・東京都・区の対策に基づき、本事業もその方針に合わせた対応をしていく。 <p>不要不急の外出や大人数の集まり等自粛要請がある場合、稼働率の低迷は避けられない状況である。</p> <p>利用者のアンケートの満足度やご意見で今後の課題について検討していく。</p> <p>【その他】</p> <p>令和3年度より宿泊料金の支払い方法に、キャッシュカード払いを開始。</p> <p>現在の委託契約は令和5年3月31日で終了。次回の業者選定についてプロポーザル方式以外の方法も検討していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	音楽訓練教室					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	地域保健課			
開始年度	平成元年度					個別計画	—			
根拠法令	公害健康被害の補償等に関する法律									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	5	説明等	3(4)
事務事業目的	①ぜん息児が、腹式呼吸を体得することにより、呼吸機能を向上させ、発作時の症状を軽減させる。 ②保護者が、薬剤に頼るだけでなく、腹式呼吸法の知識を習得し、家庭において実践する。									
実施内容	専門指導員（音楽療法士）が、ぜん息児に歌や踊り、楽器の使用などの指導を通して、自然な形で腹式呼吸を習得する。 保護者にも、腹式呼吸の方法や効果などを説明し、家庭において取り組むことができるよう促す。 【対象者】区内在住で気管支ぜん息の心配のある3歳から小学校2年生までの児童とその保護者 【開催】2回開催（1回2日制） 【会場】青戸地区センター、亀有地区センター 【募集方法】広報紙・区ホームページ掲載、小学校・保育園・医療機関等にチラシ配布 【参加費】無料									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	参加者が参考になったと答えた率（参考になったと回答した数／アンケート回収数）	%	目標	100	90	90
				実績	80	89	—
活動	参加者数（延人数）	参加者数（延べ人数）	人	目標	45	30	15
				実績	23	20	—
活動	開催日数	開催日数	日	目標	4	4	2
				実績	4	4	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	296	252	47
	一般財源	(a)	662	706	391
支出	直接事業費	(b)	168	168	48
	職員人件費	(c)	790	790	390
		業務量（人）	0.10	0.10	0.05
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	100	90	48
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	100	90	48
		（控）コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	1,058	1,048	486

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	23	20	—
単位あたり区単コスト	(a/g)	28,783	35,300	—
単位あたりコスト	(f/g)	46,000	52,400	—

実施状況に対する評価	<p>令和2年度も区内2か所で開催予定であったが、歌や楽器を使用して自然な形で腹式呼吸を習得する教室であるため、コロナウイルスの感染が拡大している状況であったため令和2年度の教室開催は中止とした。代替事業として、教室開催時に使用している腹式呼吸について書いてある絵本を公立保育園に配布し、喘息発作時に自然に腹式呼吸ができるよう、音楽療法士が絵本を使用して歌や腹式呼吸をしている動画サイトの紹介を行った。</p>
今後の方向性【継続】	<p>令和3年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催の可否を検討する。教室開催時には、医療機関・小学校・保育園へのチラシの配布枚数、配布場所を増やすことで参加者増を目指す。</p>

事務事業評価表

事務事業名	健康相談窓口						担当部	健康部		関係課	—
							担当課	地域保健課			
開始年度	平成27年度						個別計画	—			
根拠法令	地域保健法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	2	説明等	1(9)	
事務事業目的	区民の一人ひとりの健康に関するあらゆる相談にきめ細やかに応じ、不安や疑問を解消する。										
実施内容	<p>【概要】 健康相談に対応するためのコールセンター運営を事業者に委託し、区民からの心身の健康や疾病等に関する電話相談を専門職（医師、看護師、保健師等）が受け、必要な助言や指導、情報提供等を行うことで区民の健康問題の解決を支援する。 ※平成29年度までは保健所内に相談窓口を設置し、職員が電話対応をするという体制をとっていた。</p> <p>【実施方法】 ①受付・時間 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時30分から午後8時まで ※委託前は月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時30分から午後5時まで（水曜日のみ午後7時30分まで） ②相談方法 電話による相談 ③相談内容によっては、保健センターの保健師が必要に応じて訪問し、支援を行う。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	相談を完結した割合	終了件数／相談件数	%	目標	95	95	95
				実績	100	100	100
活動	相談件数	—	件	目標	7,000	7,000	7,000
				実績	5,142	3,593	3,558
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	11,340	11,063	10,500	
支出	直接事業費 (b)	10,945	10,589	10,032	
	職員人件費 (c)	395	474	468	
		業務量（人）	0.05	0.06	0.06
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	50	54	57	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	50	54	57	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	11,390	11,117	10,557	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	相談件数（件）		
実績数値 (g)	5,142	3,593	3,558
単位あたり区単コスト (a/g)	2,205	3,079	2,951
単位あたりコスト (f/g)	2,215	3,094	2,967

実施状況に対する評価	<p>健康相談窓口「健康ホットラインかつしか」は、平成29年度まで区職員が保健所内で電話相談を受け付けていたが、平成30年度からは、区民がより専門的な相談を受けられるように、医師や看護師、臨床心理士等の専門職を配置し更に受付時間を午後8：00までとするコールセンターに電話相談業務を委託した。</p> <p>令和2年度のトータルコストは、平成29年に比べておよそ74%ほど低くなった。</p> <p>また、相談件数が年々減少していることが課題である。</p>
今後の方向性【改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターで受けた相談のうち、自殺企図や強い育児不安など、継続的な支援を必要とする事例は、保健センターが引き継ぎ、保健師が必要に応じて訪問し、必要な支援を行う。さらに、運動不足・運動方法などの緊急性の低い相談に対しても相談者が保健師に引き継ぐことを望んだ際には積極的につなぎ、問題解決に向けて支援していく。 ・区民が必要な時に電話相談ができるよう、従来のチラシ配布・区広報紙掲載だけでなく周知方法について検討していく。

事務事業評価表

事務事業名	公害認定患者家庭療養指導事業					担当部	健康部	関係課	保健センター	
						担当課	地域保健課			
開始年度	昭和50年度					個別計画	—			
根拠法令	公害健康被害の補償等に関する法律									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	5	説明等	3(3)
事務事業目的	療養上の悩みなどについて、適切なアドバイスや指導を受けることにより、長期間に渡る療養生活において自己管理能力を高め回復促進を図る。									
実施内容	<p>公害認定患者に対して、保健師が電話または訪問することで、近況を把握するとともに、療養上の必要な助言・指導を行う。</p> <p>【時 期】 通年（おおむね3年に1回は、助言・指導を行う）</p> <p>【公害認定患者数】 852人（令和2年度3月末現在）</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	助言・指導率	助言・指導を行った患者数／公害認定患者数	%	目標	55.0	55.0	50.0
				実績	41.6	39.7	49.2
活動	助言・指導を行った患者数	—	人	目標	500	492	430
				実績	372	350	420
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	5	4	5
	一般財源 (a)	1,700	2,007	1,914	
支出	直接事業費 (b)	7	6	7	
	職員人件費 (c)	1,698	2,005	1,912	
		業務量 (人)	0.24	0.27	0.26
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	180	207	209	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	180	207	209	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	1,885	2,218	2,128	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	助言・指導を行った患者数 (人)		
実績数値 (g)	372	350	420
単位あたり区単コスト (a/g)	4,570	5,734	4,557
単位あたりコスト (f/g)	5,067	6,337	5,067

実施状況に対する評価	昨年度に比べ指導患者数が大きく伸びていることがわかる。(平成30年度:372人、令和元年度:350人、令和2年度420人)これは療養指導を公害認定患者の手帳の更新の時期(3年毎に手帳を更新)に合わせて行っていることが多く、昨年は手帳の更新患者が多い年であったためであると考えられる。
今後の方向性【継続】	新型コロナウイルスや高齢化の影響で、役所に来ることが困難な状態が続くと思われる。療養指導を行う保健師との連携を強化し、公害患者と連絡をとりやすい環境づくりを行っていく。

事務事業評価表

事務事業名	ぜん息教室					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	地域保健課			
開始年度	昭和61年度					個別計画	—			
根拠法令	公害健康被害の補償等に関する法律									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	5	説明等	3(2)
事務事業目的	①ぜん息に関する正しい知識を普及し、発作時等における症状の軽減を図る。 ②治療などの参考とする。									
実施内容	専門医・理学療法士等が、講義や事例などを通して、療養生活上の注意、自己管理方法、予防・改善方法など、ぜん息に関する知識の普及や指導を行う。事業として、知識普及講習会と成人ぜん息教室を実施する。 【知識普及講習会】 ぜん息児水泳教室に応募した保護者及び公募した希望者を対象として実施。 水泳教室実施場所で、医師及び看護師による指導を行う。 (実施実績) ・開催日数 平成30年度： 2日、令和元年度： 2日、令和2年度： 0日 ・参加者数 平成30年度： 43人、令和元年度： 62人、令和2年度： 0人 【成人ぜん息教室】 一般公募に応募した方を対象として実施。公害認定患者へも事業周知の案内を送付した。 地区センター等で、医師及び理学療法士による指導 (実施実績) ・開催日数 平成30年度： 2日、令和元年度： 2日、令和2年度： 0日 ・参加者数 平成30年度： 62人、令和元年度： 92人、令和2年度： 0人 ※令和2年度は開催していないため、実績はなし。									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	参加者が役に立つと答えた率（役に立つと回答／アンケート回収数）	%	目標	95	95	95
				実績	92.9	96.1	—
活動	参加者数	参加者数 (知識普及講習会＋成人ぜん息教室)	人	目標	145	150	150
				実績	124	154	—
活動	開催日数	開催日数 (知識普及講習会＋成人ぜん息教室)	日	目標	4	4	4
				実績	4	4	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	213	243	10
	一般財源	(a)	954	933	625
支出	直接事業費	(b)	219	228	11
	職員人件費	(c)	948	948	624
		業務量（人）	0.12	0.12	0.08
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	120	108	76
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		120	108	76
	（控）コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	1,287	1,284	711

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	124	154	—
単位あたり区単コスト	(a/g)	7,694	6,058	—
単位あたりコスト	(f/g)	10,379	8,338	—

実施状況に対する評価	令和2年度も知識普及講習会2回、成人ぜん息教室2回の計4回の教室を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため開催することができなかった。代替事業として、吸入薬の正しい使い方説明のDVD、ぜん息情報が掲載されている冊子等の案内通知を送付した。希望者約150人に情報冊子等を送り、ぜん息の予防、療養に役立ててもらうことができた。
今後の方向性【継続】	新型コロナウイルスの感染状況をみながらの教室開催になるが、講習会の開催日が決まり次第、保育園や幼稚園、児童館等に早くから周知をし参加者増に繋げていく。併せてリモート開催、代替事業も検討し多くの方にぜん息の療養生活上の注意、自己管理方法、予防・改善方法について情報を提供していく。

事務事業評価表

事務事業名	ぜん息児水泳教室					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	地域保健課			
開始年度	平成17年度					個別計画	—			
根拠法令	公害健康被害の補償等に関する法律									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	5	説明等	3(1)
事務事業目的	水泳をすることによりぜん息の症状の改善につなげていくことを目的とする。また、本事業への参加をきっかけとして、水泳以外にも定期的に運動を続けるなど継続した体力づくりにつなげる。									
実施内容	<p>○事業内容 ぜん息を持つ区内在住の小学生を対象として、ぜん息症状の改善につなげることを目的として、水泳教室を実施するとともに、保護者を対象に知識普及のための講演会を実施するもの</p> <p>○経緯 平成17年度より事業開始。当初は区が委託する水泳指導員が指導 平成20年度から民間業者（スポーツクラブ）に業務委託 ※ 区は参加者の募集及び決定を行う。事業実施は医師や看護師の配置、会場（プール）の提供を含め民間業者（スポーツクラブ）に委託している。 令和元年度より区内を東西に分け、2会場にて実施。令和2年度は新型コロナウイルスのため中止。今年度は開催予定。</p> <p>○令和元年度実施状況 【募集方法】医療機関へのポスターの掲示（450枚）、区ホームページ掲示、区内全小学校にリーフレット配布（22,000枚） 【対象者】ぜん息を持つ区内居住の小学校1年生～6年生 【募集数】90人（各会場45名募集、応募多数の場合は抽選） 【費用】自己負担無（保険料の負担あり） 【時期】6月～3月 毎週木曜日及び土曜日（施設休館日）年間36回 【プログラム】泳力により3～4グループ分けし専任コーチが泳力の向上を指導する。一定期間に泳力を確認し上級のクラスに行く。 【実施場所】民間スポーツクラブ 【講演】子どもがプールに入っている間に保護者に対して、専門医を招いてぜん息の検査や診断、発作時の対応と発作を起こさないための治療、環境整備の重要性、健康の管理などについて講演を行っている。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	事業に参加した満足度	%	目標	95	95	95
				実績	93.3	90.9	—
活動	参加者数（延人数）	参加者数（延人数）	人	目標	1,134	2,268	2,000
				実績	973	1,749	—
活動	開催日数	開催日数	日	目標	36	72	72
				実績	36	66	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	3,052	6,165	13
	一般財源 (a)	380	730	390	
支出	直接事業費 (b)	3,037	6,105	13	
	職員人件費 (c)	395	790	390	
		業務量（人）	0.05	0.10	0.05
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	50	90	48	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	50	90	48
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,482	6,985	451	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	973	1,749	—
単位あたり区単コスト (a/g)	391	417	—
単位あたりコスト (f/g)	3,579	3,994	—

実施状況に対する評価	<p>本事業は平成20年度から民間事業者（スポーツクラブ）に委託している。</p> <p>令和元年度より会場を拡大（これまで1会場であったものを、区内の東西2会場で開催）したことにより、より多くの区民が本事業に参加することが可能となった。参加者の満足度も高く、令和2年度も区内の東西2会場で実施の予定であった。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況であり、ぜん息の基礎疾患を持つ児童を対象とした事業であることから、参加者の安全を考慮し水泳教室の実施を見合わせる事となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>令和3年度は、区内2か所で開催予定である。人数、観覧者数、ロッカー使用時間を制限しながら新型コロナウイルス感染防止に努め、多くの児童に安心して参加してもらえるようにしていく。第一回目を7月第3週目から開始予定。その後も引き続き新型コロナウイルスの感染状況に注意を払い実施していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	働く世代への総合的な健康づくり支援					担当部	健康部		関係課	健康づくり課
						担当課	地域保健課			
開始年度	令和2年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(8)
事務事業目的	健康寿命の延伸及び障害にわたる生活の質の向上をめざし、さまざまな側面から働く世代への健康づくりを支援する。									
実施内容	<p>地域保健だけではなく、区内の事業者と連携して職域保健を支援するとともにICT等を活用し運動や栄養、メンタルなど総合的な保健サービスを実施して区内の事業所や働く方の健康づくりを支援する。</p> <p>令和2年度は、区内企業と食をテーマとしたモデル事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業と協議し、中止とした。</p> <p>また、区内事業者の従業員を対象に、心・体・食の各分野の健康づくりを包括的に支援する専用アプリを使つての事業を試行実施した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	健康づくりに取り組んでいる区民の割合	政策・施策マーケティング調査	%	目標	—	—	63.0
				実績	—	—	64.0
活動	参加企業数	参加企業の数	社	目標	—	—	検討
				実績	—	—	3
活動	参加者数	参加者の数	人	目標	—	—	検討
				実績	—	—	15
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	-	-	0
		都道府県支出金	0	0	2,428
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	0	0	10,229	
支出	直接事業費 (b)	-	-	4,857	
	職員人件費 (c)	0	0	7,800	
		業務量（人）	0.00	0.00	1.00
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	0	0	950	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	0	0	950	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	0	0	13,607	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	参加者数		
実績数値 (g)	—	—	15
単位あたり区単コスト (a/g)	—	—	681,933
単位あたりコスト (f/g)	—	—	907,133

実施状況に対する評価	<p>第2次かつしか健康実現プランでは、ライフステージ別の健康課題に応じた取組を進めることとしているが、「働く世代」については、重点事業がなく、他の年代と比べて働きかけが少ない状況である。また、政策・施策マーケティング調査によると、自営・勤め人の「健康づくりに取り組んでいる人の割合」が他の年代と比べて低くなっている。</p> <p>働く世代の方が継続して健康づくりに取り組めるきっかけとなるよう、事業を検証しつつ展開していく必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>健康習慣の定着や切れ目のない健康づくりにつなげるために、健康づくりに関連する部署間の連携を図り、横断的に事業を展開していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	薬物乱用防止啓発						担当部	健康部		関係課	—
							担当課	地域保健課			
開始年度	昭和59年度						個別計画	—			
根拠法令	東京都薬物乱用防止条例										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(5)	
事務事業目的	①薬物の恐ろしさ・危険性などイベント・薬物乱用防止教室等を通じ、区民に周知・PR活動をしていく。 ②「薬物乱用防止推進葛飾区地区協議会」の活動を活発にしていく。										
実施内容	麻薬・覚せい剤等薬物の乱用防止に関する区民向け啓発活動を、薬物乱用防止指導員と連携して実施 ①地区協議会定例会の開催（年4～5回） ②地区協議会研修会の開催（年1回） ③区内中学校から薬物乱用防止ポスター・標語の作品募集（年1回） ・優秀作品等は同協議会区民大会、社会を明るくする運動総会会場等で展示啓発活動を実施 ・最優秀作品については、デザイン等を使用し啓発用グッズを作成し、イベント等で配布、区民への啓発 ・最優秀作品については、それぞれ東京都薬物乱用防止推進協議会へ推薦 ④薬物乱用防止葛飾区民大会の開催（年1回） ・基調講演 ・ポスター・標語の入賞者の表彰 ・ポスター・標語入賞作品展示 ⑤その他の啓発活動 ・区内小中学校で「薬物乱用防止教室」の実施 ・子どもまつり、産業フェア、東京拘置所矯正展、各地区まつり等のイベントでチラシ・ティッシュペーパー等を配布 ・区広報紙、かつしかFM、メールマガジン等で広報など ⑥薬剤師会と連携し、薬物相談窓口を設置、区民の相談に応じている。										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	葛飾区民大会参加人数	出席者名簿	人	目標	90	90	90
				実績	62	47	48
活動	薬物乱用防止ポスター・標語応募数	ポスター応募者+標語の応募者	件	目標	500	500	200
				実績	347	611	196
活動	子どもまつり等の街頭啓発活動数	活動報告	回	目標	8	8	2
				実績	8	8	0
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	153	121	102
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	1,529	2,051	1,898	
支出	直接事業費 (b)	339	355	206	
	職員人件費 (c)	1,343	1,817	1,794	
		業務量（人）	0.17	0.23	0.23
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	170	207	219	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	170	207	219	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	1,852	2,379	2,219	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	各参加者数（区民大会、定例会・研修会）（人）		
実績数値 (g)	158	146	88
単位あたり区単コスト (a/g)	9,677	14,048	21,568
単位あたりコスト (f/g)	11,722	16,295	25,216

実施状況に対する評価	<p>例年行っている子どもまつり等のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催することが困難であったため、区民との直接的な啓発活動が行えなかった。それに代わり、令和元年度の最優秀作品をポスターとして区内町会の掲示板に掲示し、薬物乱用の啓発を行った。</p> <p>また、啓発活動の一環として薬物乱用防止ポスター・標語の募集を毎年区内中学校に周知・依頼しているが、取り組みについては、各学校の判断によるため、各年度の応募数実績には差がみられる。</p>
今後の方向性【改善】	<p>近年、大麻や危険ドラッグの乱用等、薬物乱用が社会問題となっており、薬物乱用の防止を訴えていくことは今後も必要な事業であり、継続していく。</p> <p>また、薬物乱用防止ポスター・標語の募集は、引き続き、区内中学校に協力を依頼していく。併せて地区協議会の委員と警察関係と共に情報交換を行い、各団体や委員と連携しながら薬物乱用防止の周知を強化していく。</p> <p>今後、街頭啓発以外の啓発活動についても検討していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	栄養指導事業						担当部	健康部		関係課	保健センター
							担当課	健康づくり課			
開始年度	昭和50年度						個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	4(2)	
事務事業目的	①健康の維持・増進や生活習慣病予防のための食生活について、区民が理解し実践する。 ②給食施設利用者へ適切に栄養管理された給食が提供されるよう働きかける。										
実施内容	<p>【概要】 生活習慣病予防や健康増進を目的に、食生活の改善について栄養講習会や個別相談を実施する。また、給食施設の喫食者の健康増進を図るため、給食施設の栄養管理者等に講習会等を行う。</p> <p>【活動内容】 ①糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病予防のための食生活について、広報かつしかやホームページで情報提供を行う。 ②町会等の依頼により講師を派遣し、保健所外の会場で講座等を実施する。 ③個人に対して、所内や所外の会場で生活習慣病予防等の食生活相談を実施する。 ④給食施設に対して、栄養管理報告書や施設電話等による指導を実施する。 ⑤給食施設の栄養士等の従事者に対して栄養管理等について、講習会や講演会等を行う。 ⑥給食施設指導の一環として、医療福祉栄養士連絡会を開催する。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	講習会参加者の満足度	講習会の内容を家族等に話そうと思う人の割合	%	目標	93.0	93.0	93.0
				実績	91.0	86.0	—
活動	栄養指導実施回数	—	回	目標	650	650	650
				実績	562	546	687
活動	給食施設指導実施件数	—	件	目標	1,000	1,000	1,000
				実績	1,093	1,091	683
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	189	174	0
		その他	26	16	0
	一般財源 (a)	16,964	17,088	16,827	
支出	直接事業費 (b)	550	536	525	
	職員人件費 (c)	16,116	16,274	16,302	
		業務量（人）	2.04	2.06	2.09
	間接費 (d)	513	468	0	
	調整額 (e)	2,040	1,854	1,986	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	2,040	1,854	1,986	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
トータルコスト (f=b+c+d+e)	19,219	19,132	18,813		

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ指導実施回数（栄養指導・給食施設指導等）（回）		
実績数値 (g)	1,655	1,637	1,370
単位あたり区単コスト (a/g)	10,250	10,439	12,282
単位あたりコスト (f/g)	11,613	11,687	13,732

実施状況に対する評価	<p>栄養講習会参加者の満足度については、令和2年度は未実施のため評価無しであった。次年度以降実施予定であるモニター参加形式においても、満足度調査を行い成果指標とすることを検討している。</p> <p>栄養指導実施回数について、従来のイベント等は中止であったが、総数は増加した。内訳として、電話相談件数が令和元年度88件から令和2年度564件へと増加、来所相談は例年並み、母子保健事業での個別相談は事業中止に伴い減少であった。特記事項として電話相談の対象別件数について、乳幼児は令和元年度325件から令和2年度495件へ、成人は令和元年度31件から令和2年度58件へとそれぞれ1.5～2倍程度の増加であった。要因として、乳幼児の保護者に向けたリーフレットや広報かつしかをはじめとした媒体を用いて食生活相談事業の周知を積極的に行ったことや、栄養講習会や乳幼児健診等の事業中止によって個別相談の需要が増加したことが考えられる。</p> <p>給食施設指導実施件数について、4月から12月までの研修会等の中止により減少したが、栄養管理報告書の提出は例年並みであった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>栄養講習会について、広報かつしかや区ホームページを活用した情報提供を、食育普及啓発事業と併せて継続実施する。また、人を集めない実施形式でも一般区民が対面開催に準じた体験ができるような新たな方法を検討する。ホームページ上に掲載する栄養情報に対するモニターを公募し、感想を公表する方法を実施する予定となっている。児童館や町会等における小集団に対する講座は継続実施し、参加者満足度を維持できるよう個別のニーズに応える内容を随時検討していく。</p> <p>栄養指導については、引き続き周知を行うとともに、様々な年代の多様な相談内容に対応できるよう工夫していく。</p> <p>給食施設については、施設の種類や特性に応じて個別指導を中心に継続実施する。また、栄養士向けの連絡会や研修会もオンライン形式を引き続き活用しながら実施していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	健康教育関連事務（学校保健との連携）						担当部	健康部		関係課	保健センター
							担当課	健康づくり課			
開始年度	平成13年度						個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	—	款	—	項	—	目	—	説明等	—	
事務事業目的	学校での健康教育が充実されることにより、小中学生の健康に対する意識を高める。										
実施内容	<p>【概要】 保健所と区内の小中学校とが保健分野において連携し、区職員（保健師）による健康教室を実施することで、小中学生の健康に関する意識の向上を図る。</p> <p>【実施内容】 希望する小学校・中学校に対して、その地域を担当する保健師が作成した教材を使って、喫煙防止教室および性感染症予防教室の出前健康教育を実施する。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施であった。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	喫煙をしないという意識をもった児童・生徒の割合	喫煙防止教室後のアンケート調査の結果	%	目標	93.0	93.0	93.0
				実績	89.9	89.7	—
活動	喫煙防止教室の実施回数	出前教室を行った回数	回	目標	30	30	38
				実績	29	34	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	2,844	3,476	1,404
支出	直接事業費	(b)	0	0	0
	職員人件費	(c)	2,844	3,476	1,404
		業務量（人）	0.36	0.44	0.18
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	360	396	171
	減価償却費		0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	360	396	171
		（控）コスト対象外	0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	3,204	3,872	1,575	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	喫煙防止教室実施回数（回）			
実績数値	(g)	29	34	—
単位あたり区単コスト	(a/g)	98,069	102,235	—
単位あたりコスト	(f/g)	110,483	113,882	—

実施状況に対する評価	<p>学校教員と保健所専門職種（保健師）職員が連携して実施する事業であるが、学校（教室）での感染拡大防止のため、関係課との協議の結果、実施しなかった。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症禍にあっても、児童たちに喫煙による健康被害を伝えていく方法を工夫していく必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>教育委員会が運営する健康教育推進委員会と連携しながら、児童・生徒が喫煙や性感染症に関する正しい最新の情報をわかりやすく理解して、健康上の課題を解決できるよう、今後も実施内容や教材の改善を図る。</p>

事務事業評価表

事務事業名	高齢者に対する栄養指導					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	令和元年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	4(3)
事務事業目的	<p>高齢者の健康課題であるフレイル（心身が虚弱な状態）対策として、フレイル予防に対する意識啓発、栄養指導を実施する。</p>									
実施内容	<p>【概要】 長寿（後期高齢者）医療健康診査の受診者に対してフレイル予防に対する意識啓発を図るとともに、健診結果からフレイルの疑いがある受診者に対して、栄養指導、生活機能訓練を受けるよう勧奨する。</p> <p>【実施内容】 ①実施期間 令和2年8月～11月（健診期間）、令和2年8月～令和3年3月（栄養指導生活機能訓練） ②対象者 長寿（後期高齢者）医療健康診査受診者（75歳以上） ③フレイル予防に対する意識啓発 ・受診者全員：リーフレット（フレイル予防【概要版】）を受診時に医療機関から配付 ・「BMI < 18.5かつHb < 12.0」と「年度末年齢76歳で質問項目NO4～7の全てはいい」：フレイル予防【詳細版】リーフレットを郵送 ※BMI：体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数 ※Hb：血中に含まれるヘモグロビンの量 ④栄養指導の勧奨 「BMI < 18.5かつHb < 12.0」または「年度末年齢76歳で質問項目NO4～7全てをいい」の受診者に対して、無料で受けられる栄養指導、生活機能訓練の案内を郵送 ⑤栄養指導 「BMI < 18.5かつHb < 12.0」または「年度末年齢76歳で質問項目NO4～7全てをいい」の受診者に対して、栄養指導を実施 ⑥健康長寿いきいき健康診査（モデル実施） 令和2年度から、年度末年齢76歳で長寿医療健康診査を受診される方を対象に実施（3つの問診と3種類の測定・検査）。フレイルが疑われる方には、医療機関で無料で受けられる栄養指導、生活機能訓練を案内</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	フレイル予防サルコペニア対策【概要版】リーフレット配付	長寿（後期高齢者）医療健康診査受診者への配付部数	部	目標	—	35,000	35,000
				実績	—	34,875	34,324
活動	栄養指導受診勧奨人数	—	人	目標	—	1,000	1,000
				実績	—	1,026	1,045
成果	栄養指導人数	—	人	目標	—	50	50
				実績	—	27	27
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	—	0	0
		都道府県支出金	—	0	0
		その他	—	481	778
	一般財源 (a)	—	1,583	2,653	
支出	直接事業費 (b)	—	484	857	
	職員人件費 (c)	—	1,580	2,574	
		業務量 (人)	—	0.20	0.33
	間接費 (d)	—	506	0	
	調整額 (e)	—	—	314	
	減価償却費	—	0	0	
	金利	—	0	0	
	退職給与引当	—	180	314	
	(控) コスト対象外	—	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	—	2,244	3,745	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	栄養指導人数（人）		
実績数値 (g)	—	27	27
単位あたり区単コスト (a/g)	—	58,630	98,259
単位あたりコスト (f/g)	—	83,111	138,704

実施状況に対する評価	<p>新たに年度末年齢76歳の方を対象に、健康長寿いきいき健康診査をモデル実施するとともに、高齢者の特性を踏まえた健康状態を総合的に把握するための15項目の質問票を導入し、フレイルが疑われる受診者に対して、無料で受けられる栄養指導、生活機能訓練を案内し、実施することができた。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響と、これにより健診開始時期を1か月遅らせたこともあり、栄養指導、生活機能訓練につながる人数は、目標人数を達成することができなかった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>健診結果から栄養指導、生活機能訓練が必要とされる受診者が、必要な指導・訓練を受けていただけるよう、葛飾区医師会と連携しながら検討する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	歯科健康教育					担当部	健康部		関係課	—																																
						担当課	健康づくり課																																			
開始年度	昭和45年度					個別計画	—																																			
根拠法令	地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律、葛飾区歯科保健相談運営要綱																																									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	3	説明等	2(1)																																
事務事業目的	ライフステージに応じた健康教育を行うことにより、正しい歯科保健の知識の習得及び8020を達成する区民を増やす。 ※8020運動：80歳になっても自分自身の歯を20本以上保つことを目標とする「生涯を通した歯の健康づくり」のための運動																																									
実施内容	<p>【概要】 むし歯や歯周病等の歯科疾患の予防や、噛むこと飲み込むことなどの口腔機能の維持に関し、区民の年齢や状況に応じた健康教育および健康相談を行う。</p> <p>【活動内容】 ①健康教育（所内） 各保健センターにて常勤歯科医師・歯科衛生士が実施する。（歯周病予防教室、各健康教室等） ②健康教育（所外） 児童館や福祉施設等にて常勤歯科衛生士が実施する。（各施設の依頼により訪問） ③健康相談 来所や電話等にて常勤歯科医師・歯科衛生士が随時個別対応する。</p> <p>【活動実績】 健康教育</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">①所内</td> <td></td> <td style="text-align: center;">②所外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td style="text-align: center;">30回 1,190人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">41回 888人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td style="text-align: center;">27回 1,077人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">39回 838人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td style="text-align: center;">4回 7人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">18回 291人</td> <td></td> </tr> </table> <p>*R1年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回（令和2年3月分）中止 *R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、9月以降一部実施</p> <p>③健康相談</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">来所</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td style="text-align: center;">55件</td> <td style="text-align: center;">40件</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td style="text-align: center;">53件</td> <td style="text-align: center;">19件</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td style="text-align: center;">124件</td> <td style="text-align: center;">14件</td> </tr> </table>											①所内		②所外		H30年度	30回 1,190人		41回 888人		R1年度	27回 1,077人		39回 838人		R2年度	4回 7人		18回 291人			電話	来所	H30年度	55件	40件	R1年度	53件	19件	R2年度	124件	14件
	①所内		②所外																																							
H30年度	30回 1,190人		41回 888人																																							
R1年度	27回 1,077人		39回 838人																																							
R2年度	4回 7人		18回 291人																																							
	電話	来所																																								
H30年度	55件	40件																																								
R1年度	53件	19件																																								
R2年度	124件	14件																																								

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	健康教育の実践度（フッ化物入り歯磨剤を使用している幼児）	3歳児歯科健診アンケート歯磨剤の使用回数÷受診者数×100	%	目標	78.0	79.0	80.0
				実績	81.5	82.2	88.3
成果	健康教育の実践度（歯間清掃用具を使用している人）	成人歯科健診・3歳児歯科健診受診者アンケート結果使用者数÷受診者数×100	%	目標	55.0	59.0	60.0
				実績	61.1	63.1	64.9
活動	健康教育参加者数	延べ参加者数	人	目標	2,050	2,050	500
				実績	2,078	1,915	298
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	21	28	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	1,833	1,884	1,648	
支出	直接事業費 (b)	116	95	10	
	職員人件費 (c)	1,738	1,817	1,638	
		業務量（人）	0.22	0.23	0.21
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	220	207	200	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	220	207	200
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	2,074	2,119	1,848	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	健康教育参加者数（人）		
実績数値 (g)	2,078	1,915	298
単位あたり区単コスト (a/g)	882	984	5,530
単位あたりコスト (f/g)	998	1,107	6,201

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした所内外の健康教育があり、健康教育参加者数は大きく減少した。</p> <p>「フッ化物入り歯磨剤を使用している幼児」及び「歯間清掃用具を使用している人」の割合は、ともに上がっており目標値も達成している。健康教育での普及啓発はできなかったものの、歯周病予防教室の内容を動画配信するほか、各種歯科健診の機会をとらえ、歯科保健情報を発信した。また、歯科保健情報は写真やイラストを活用して視覚情報を増やすなど幅広い年齢で理解が得られるよう工夫したことが広く区民に周知できたと考える。</p>
今後の方向性【改善】	<p>所内外の健康教育については、内容や実施時期等を変更するなどしてできる限り実施する。広報・ホームページ・かつしかFM・ツイッター・フェイスブック・保健所パネル等については、常に新しい情報を発信し、あらゆる年齢の区民が口の健康について関心を持つように働きかけていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	熱中症予防対策（保健所）						担当部	健康部		関係課	地域保健課
							担当課	青戸保健センター			
開始年度	平成24年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	1	説明等	1(15)	
事務事業目的	熱中症に注意する季節前から、区民を対象に、講習会や説明会を開催し、広報紙やホームページなどの広報媒体で啓発活動を行い、ハイリスク者には戸別訪問など手厚い活動を行うことで、区民が熱中症にかからないよう行動できることを目的とする。										
実施内容	<p>1 健康講座・健康教育</p> <p>① 地域への健康教育（予防法の説明とチラシ配布、対象…成人・高齢者の自主グループ、地域からの依頼による講習会）5回開催（参加人数合計317人）</p> <p>② 例年、保健所・保健センターの既存事業等において、健康教育を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の母子保健事業や精神保健福祉事業【家族教室、講演会等】、難病事業【難病リハビリ教室等】が中止となった。代替として、乳幼児健診の案内送付時にチラシを同封して、熱中症予防の啓発を行った。 既存事業での健康教育：45回 参加人数合計447人 チラシのみ配布：48回 配布枚数合計4,910枚</p> <p>③ 自治町会連合会・地区民生委員協議会の各地区に担当地域の保健師による健康教育を実施 1回開催（参加人数合計102人）</p> <p>2 予防啓発</p> <p>① 広報紙・かつしかFMなどの広報媒体による啓発活動</p> <p>② ポスター（1,500枚）掲示、チラシ（53,000枚）配布による啓発活動</p> <p>③ ハイリスク者（難病患者、公害健康被害患者、在宅重症心身障害者・児、精神障害者など）に対する予防支援活動を実施 （家庭訪問1,299件、所内面接2,325件、電話相談9,192件 他）</p> <p>④ 横断幕の設置（健康プラザかつしか正面等、計5か所） 「夏マスク 熱中症に 要注意」</p> <p>3 ミストシャワー（健康プラザかつしか正面玄関前等）の稼働</p> <p>4 民間事業所との協働</p> <p>① 駅ビルの電光掲示板の活用</p> <p>② 商店街における放送</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	熱中症患者搬送数（5月～9月）	環境省提供データ	人	目標	—	—	—
				実績	294	263	217
活動	保健所事業での健康教育回数	開催数	回	目標	418	418	418
				実績	433	430	50
活動	ハイリスク者への予防支援件数	家庭訪問、面接、電話相談等件数	件	目標	3,520	5,000	5,000
				実績	15,199	16,110	18,200
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	21	357	332
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	8,265	6,481	6,338	
支出	直接事業費 (b)	419	740	722	
	職員人件費 (c)	7,867	6,098	5,948	
		業務量（人）	1.00	0.78	0.77
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	990	684	713	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	990	684	713	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	9,276	7,522	7,383	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	ハイリスク者支援活動件数（件）		
実績数値 (g)	15,199	16,110	18,200
単位あたり区単コスト (a/g)	544	402	348
単位あたりコスト (f/g)	610	467	406

実施状況に対する評価	<p>熱中症予防は、発症時期前から保健センター事業や地区活動の中で、ハイリスク者への注意喚起や知識、予防策の普及に努めており、年々実績を上げている。</p> <p>R2年度の熱中症予防対策は、マスク着用など新型コロナウイルス感染症予防との両立や、3密を避けた周知方法への変更などを、従来の対策に加えて実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の保健センター事業や成人・高齢者自主グループが中止となり、例年と比べて健康教育実績数は減少。代わりに、熱中症のチラシを母子健診の案内時に郵送したり、自主グループにチラシを配布することで、予防対策の普及啓発を実施。</p> <p>広報紙やかつしかFM、区のホームページなど広報媒体や防災無線を活用し普及啓発活動を行い、ポスターを学校、医療機関、事業所、保育関連施設、行政施設等に掲示して多くの区民に注意喚起を行った。さらに、横断幕を5か所に設置して、マスク着用による熱中症リスクの高さを注意喚起した。</p> <p>また、民間事業所との連携を行い、駅ビルの電光掲示板と商店街の放送を活用した注意喚起の機会を設けることが出来ている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>①5月の救急搬送数の増加が多いことから、普及啓発の開始時期を5月のゴールデンウィーク明けの時期を目途に開始する。</p> <p>②救急搬送数の約5割は65歳以上の高齢者のため、単身高齢者に対する注意喚起を引き続き強化する。</p> <p>③令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナ感染症による「新しい生活様式」の実践が求められるため、感染症予防と両立した熱中症対策の取組が必要である。3密を避けるために、健康講座や健康教育の在り方について検討とそれ以外の対策の充実を実施していきたい。</p> <p>また、感染予防のためのマスクの着用と熱中症予防についての正しい情報の提供も実施する。</p>

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課							単位	H30	R1	R2		
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
熱中症予防対策事業 （高齢者）				福祉部		—	収入	特定財源	108	486	189	一時涼み所設置箇所数	箇所	152	154	154
				高齢者支援課				一般財源	1,294	2,066	2,140					
一般	4	2	1	6 (10)		支出	事業費	217	972	379	(内訳) 公共施設	箇所	60	60	60	
1 一時涼み所の開設（開設期間：7月1日～9月30日） 猛暑時の一時的な避難・休憩場所とすることができる一時涼み所を、総合庁舎や地区センターなどの公共施設をはじめ、区内の民間事業所に設置し、高齢者の熱中症を予防する。 2 高齢者に対する予防支援活動 ・熱中症予防の注意喚起チラシを一時涼み所の協力店舗へ配布し、熱中症とその予防のための知識を普及・啓発する。 ・配食サービス事業利用者への配食時や70歳到達者に対するくつろぎ入浴事業の案内書の郵送時にチラシの同封、庁舎内の福祉総合窓口やシニア活動支援センター及び高齢者総合相談センターの窓口でもチラシを配布し、「のどが渇く前に水分を取るように」等の注意喚起を行う。							人件費	1,185	1,580	1,950						
						業務量(人)	0.15	0.20	0.25	(内訳) 民間事業所	箇所	92	94	94		
						間接費	0	0	0							
						調整額	150	180	238	トータルコスト (a)	1,552	2,732	2,567			
						単位当たり コスト(円) (a/b)	10,211	17,740	16,666							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
衛生統計調査事務				健康部		—	収入	特定財源	544	701	574	延べ調査件数	件	17,573	12,375	17,716
				地域保健課				一般財源	4,646	4,952	4,896					
一般	5	1	1	2			事業費	450	518	400						
国からの委託などに基づいた、人口動態調査等の統計調査。 保健衛生行政推進の基礎資料となる。							支出	人件費	4,740	5,135	5,070					
								業務量(人)	0.60	0.65	0.65					
								間接費	0	0	0					
								調整額	600	585	618					
							トータルコスト (a)	5,790	6,238	6,088						
							単位当たり コスト(円) (a/b)	329	504	344						

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等 (千円)			活動指標 (b)						
				担当課												
予算説明書 (会計、款、項、目、説明等)							H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容																
健康医療推進協議会				健康部		—	収入	特定財源	0	0	0	会議開催回数	回	3	1	1
				地域保健課				一般財源	1,242	1,280	1,278					
一般	5	1	1	1(12)		支出	事業費	294	95	108	—	—	—	—	—	
保健医療問題や望ましい地域医療、地域保健のあり方などについて協議し、具体的施策に反映させるための協議会の運営							人件費	948	1,185	1,170						
						業務量(人)	0.12	0.15	0.15							
						間接費	0	0	0							
						調整額	120	135	143							
						トータルコスト (a)	1,362	1,415	1,421	—	—	—	—	—		
						単位当たりコスト(円) (a/b)	454,000	1,415,000	1,420,500							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
						H30	R1	R2								
										単位	H30	R1	R2			
保健所管理運営				健康部		—	収入	特定財源	1,138	1,145	1,068	施設面積	㎡	5,829	5,829	5,829
				地域保健課				一般財源	84,401	78,225	97,186					
一般	5	1	2	1(1)		等	事業費	72,109	66,888	85,930	年間利用人数	人	134,997	138,732	59,259	
保健所・保健センター庁舎等の管理運営を行う。						人件費	13,430	12,482	12,324							
①庁舎等管理運営業務（委託）						支出	業務量(人)	1.70	1.58	1.58	年間利用人数	人	134,997	138,732	59,259	
庁舎清掃 毎日							間接費	0	0	0						
樹木剪定 年1～2回						トータルコスト	調整額	21,099	20,821	20,900	(a)					
夜間警備 毎日							106,638	100,191	119,154							
害虫駆除 室内年2回、樹木年1～2回						単位当たり	コスト(円) (a/b)	18,294	17,188	20,442	—	—	—	—	—	
ごみ処理等 随時																
②設備保守業務（委託）																
冷暖房設備保守																
給排水設備保守																
変電施設保守																
自動ドア保守																
エレベーター保守																
消防設備保守																
③各種修繕業務 施設及び備品関連修繕（委託）																
④車両管理業務（8台） 車両整備及び定期整備（委託）																

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
						H30	R1	R2								
										単位	H30	R1	R2			
国民健康・栄養調査				健康部		保健センター	収入	特定財源	427	385	0	延べ調査実施数	件	72	42	—
				健康づくり課				一般財源	4,266	4,108	3,744					
一般	5	2	3	4(1)			事業費	427	385	0						
健康増進法により、国民の身体状況・栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得るために実施する。任意に定めた11月中の1日に、医師、管理栄養士、保健師等が、身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査を行う。調査世帯には、調査結果をもとに食生活改善のきっかけとする。R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため実施せず。						支出	人件費	4,266	4,108	3,744						
							業務量(人)	0.54	0.52	0.48						
							間接費	0	0	0						
							調整額	540	468	456						
							トータルコスト(a)	5,233	4,961	4,200						
							単位当たりコスト(円) (a/b)	72,681	118,119	—						

施策 番号	0102 【0601を再掲】	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策 名	安心して妊娠・出産・ 育児ができるよう、親 と子の心身の健康を支 えます	安心して子育てできると 思う区民の割合	%	目標	—	—	—
				実績	63.1	67.0	68.2
				目標			
				実績			
				目標			
				実績			

		事務事業	担当課	区分	頁
再掲 0601	計画	妊婦歯科健康診査	健康づくり課	◎	362
再掲 0601	計画	産後ケア体制の整備	青戸保健センター	◎	364
再掲 0601	計画	ゆりかご葛飾	青戸保健センター	◎	366
再掲 0601		親子の歯育てすくすくクラブ(すくすく歯育て支援 事業)	健康づくり課	◎	368
再掲 0601		すくすく歯育て歯科健診(すくすく歯育て支援事 業)	健康づくり課	◎	370
再掲 0601		ハッピーバースデイすくすく歯科健診(すくすく歯 育て支援事業)	健康づくり課	◎	372
再掲 0601		乳幼児事故防止対策	青戸保健センター	◎	374
再掲 0601		特定不妊治療費助成事業	子ども家庭支援課	◎	376
再掲 0601		母子健康診査事業	子ども家庭支援課	◎	378
再掲 0601		母子保健指導事業	子ども家庭支援課	◎	380
再掲 0601		母子医療給付事業	子ども家庭支援課	○	382

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

施策番号	0103	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	生活習慣病について知ることで、区民自らが健康管理できるようにします	健康診断や人間ドックなどを年に1回は受診している区民の割合	%	目標	74.2	74.0	74.1
				実績	76.1	78.9	78.1
		がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	%	目標	82.3	73.9	71.3
				実績	65.2	83.4	75.5
		循環器系疾患75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	%	目標	45.4	42.8	41.4
				実績	35.7	42.0	40.5

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	かつしか糖尿病アクションプランの推進	健康づくり課	◎	43
	計画	がん対策の推進	健康づくり課	◎	45
	計画	長寿歯科健康診査	健康づくり課	◎	47
		葛飾区基本健康診査	健康づくり課	◎	49
		眼科健康診査事業	健康づくり課	◎	51
		健康づくり健康診査	健康づくり課	◎	53
		健康手帳	健康づくり課	◎	55
		骨粗しょう症検診	健康づくり課	◎	57
		施設通所者健康診査事業（障害者）	健康づくり課	◎	59
		生活習慣病予防教室	健康づくり課	◎	61
		成人歯科健康診査	健康づくり課	◎	63
		特定健康診査追加検査	健康づくり課	◎	65

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	かつしか糖尿病アクションプランの推進					担当部	健康部			関係課	—
						担当課	健康づくり課				
開始年度	平成25年度					個別計画	かつしか健康実現プラン				
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	11	
事務事業目的	糖尿病治療が必要な方の未受診や、治療の中断を防止するためのフォローアップ体制を構築することにより、合併症を早期に発見し進行を予防する。										
実施内容	<p>【概要】 区内医療関係者の糖尿病診療の標準化や連携体制の強化を図るため、糖尿病対策推進会議や予防推進医療者講習会を開催する。 糖尿病の予防から療養指導までに関する正しい知識を普及啓発するため、イベントの開催やリーフレットの配布を行う。 糖尿病の発症や重症化を予防するため、未受診や治療中断を防止するためのサポート体制を構築する。</p> <p>【活動内容】 ①糖尿病対策推進会議 区民が身近な医療機関で質の高い糖尿病診療を受けられることを目指し、区内の医療関係者が糖尿病診療に関する情報を共有し、診療の標準化を図ることにより、糖尿病の発症予防、合併症予防及び重症化予防並びに療養指導に係る糖尿病診療連携について検討を行っている。 ②予防推進医療者講習会 区内の医療従事者が、糖尿病に関する情報を共有し、栄養指導等の知識を高めるとともに、互いの連携を深めることで、区民が身近な医療機関で糖尿病の治療を受けやすくなるよう、講習会を開催している。 ③予防啓発チラシ作成・配布 糖尿病予防に関するリーフレットを作成・配布し、区民への普及啓発を行っている。 ④予防啓発イベント開催 かつしか健康食育フェアを年1回開催し、糖尿病予防について、区民への普及啓発を行っている。 ⑤糖尿病重症化予防事業の実施 ⑤-1糖尿病管理指導事業 糖尿病腎症重症化予防モデル事業実施医療機関において、希望する対象者を区医師会特定保健指導相談室につなげ、食事指導や療養指導を行っていたが、本事業は平成30年度で終了した。 ⑤-2糖尿病受診勧奨事業 区特定健康診査の結果から、糖尿病が強く疑われるにも関わらず、治療をしていない区民を受診につなげるため、受診勧奨や療養支援を行っている。 ⑤-3産後糖尿病サポート事業 母親健康診査の結果から、糖尿病が強く疑われる区民を受診につなげるため、受診勧奨や療養支援を行っていたが、本事業は令和元年度で終了した。 ⑤-4若い世代への糖尿病受診勧奨事業 令和2年度より、母親健康診査と20歳代・30歳代健康診査を統合・再構築し、新たに健康づくり健康診査を開始した。健康づくり健康診査の結果から、糖尿病が強く疑われる区民を受診につなげるため、受診勧奨や療養支援を行っている。 ⑥若い世代への食事実態調査 糖尿病等の生活習慣病の予防を目的として、40歳未満の若い世代に対して食事内容や食生活行動等の食事実態調査を行った。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	国民健康保険加入者の内、人工透析を受けている区民の割合	国民健康保険データの加入者数及び人工透析患者数から算出	%	目標	0.41	0.43	0.43
				実績	0.44	0.44	0.48
成果	国民健康保険加入者の内、血糖コントロールが不良な区民の割合	特定健康診査の結果でHbA1c (NGSP) が8.4%以上の区民の割合	%	目標	1.13	1.01	1.00
				実績	1.00	0.89	1.35
活動	予防推進医療者講習会の開催	—	回	目標	2	2	2
				実績	2	2	—
活動	予防啓発リーフレットの作成・配布	—	部	目標	30,000	30,000	30,000
				実績	26,000	30,000	—
活動	予防啓発イベントの開催	—	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	—
活動	糖尿病重症化予防事業の受診状況確認ができた割合	—	%	目標	50.0	50.0	50.0
				実績	47.5	46.3	36.6
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	331
		都道府県支出金	594	424	126
		その他	0	1,554	2,073
	一般財源 (a)	14,326	12,383	12,899	
支出	直接事業費 (b)	5,597	4,999	4,119	
	職員人件費 (c)	7,440	6,873	11,310	
		業務量（人）	0.90	0.90	1.45
	間接費 (d)	4,106	3,248	0	
	調整額 (e)	900	900	0	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	900	783	1,378	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	15,820	14,361	15,429	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	特定健康診査（国民健康保険加入者）のうちHbA1cが6.5%以上の受診勧奨の対象者で受診の確認ができた人数		
実績数値 (g)	—	253	169
単位あたり区単コスト (a/g)	—	48,945	76,325
単位あたりコスト (f/g)	—	56,763	91,296

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は予防推進医療者講習会及び予防啓発イベントの開催を中止し、予防啓発イベント等で配布する予防啓発リーフレットの作成・配布も取り止めた。</p> <p>糖尿病受診勧奨事業については、受診勧奨者の状況確認ができた者の割合は、令和元年度の46.3%から令和2年度の36.6%と減少した。これは、令和2年度の特定健康診査が、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より2か月開始時期が遅れたことにより、受診勧奨をする期間が短くなったことが原因の一つと考えられる。</p> <p>また、新たに若い世代を対象とした健康診査結果から、786名の40歳未満の区民に食事実態調査を行い、調査の回答者に対して、食事の改善点を示した個人結果票を送付することができた。</p>
今後の方向性【改善】	<p>令和2年度より「健康づくり健康診査」の結果から、HbA1c6.5%以上で医療機関未受診が疑われる区民に対し受診勧奨を行う事業を開始し、40歳未満の若年者に対しても、糖尿病の発症予防に力を入れ、糖尿病の早期発見・早期治療を促していく。</p> <p>40歳以上の区特定健康診査受診者が対象となる受診勧奨事業については、引き続き、健診結果を比較するなど事業の効果を検証し、区医師会特定保健指導相談室の管理栄養士がより効果的な受診勧奨やサポートを行う。</p> <p>受診勧奨事業については、区医師会特定保健指導相談室とも連携を図り、より効果的な実施方法を検討し、効果の高い受診勧奨をすることで、区民の健康寿命の延伸と医療費の抑制を図っていく。</p> <p>また、食事実態調査については、より効果的な調査となるように調査対象者の見直しを図り、更なる糖尿病等生活習慣病予防の取組を検討していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	がん対策の推進					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	令和元年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法、がん対策基本法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	3
事務事業目的	<p>がんの予防に関する普及啓発を促進するとともに、がん検診の受診率・精度管理の向上に取り組むことで、がんの早期発見・早期治療につなげ、健康長寿の延伸を図る。 また、がん患者の支援や相談体制の充実に取り組み、生活の質の向上を支援する。</p>									
実施内容	<p>1 がんの予防に関する普及啓発 自宅で行える乳がんセルフチェックなどの普及啓発を行う。</p> <p>2 受診率向上に向けた取り組み がん検診のPR方法を工夫するとともに、受診勧奨対象者の選定、勧奨方法、勧奨タイミング等について検討して実施する。</p> <p>3 精度管理委員会の運営 精度管理委員会、各がん検診について専門的な事項を検討する部会を設置・運営して、がん検診の質の向上、がん検診対象者情報の適切な把握と管理、精密検査結果把握の仕組み作りを行う。</p> <p>4 がん患者の支援、相談体制などの充実 がん患者やその家族が相談できる窓口を設置する。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	がんの予防に関する普及啓発	—	—	目標	—	検討・実施	検討・実施
				実績	—	検討・実施	検討・実施
活動	受診率向上に向けた取り組み	—	—	目標	—	検討・実施	実施
				実績	—	検討・実施	検討・実施
活動	精度管理委員会の運営	—	—	目標	—	検討・実施	検討・実施
				実績	—	検討・実施	検討・実施
活動	がん患者の支援、相談体制の充実	—	—	目標	—	検討・実施	検討・実施
				実績	—	検討・実施	検討・実施
成果	肺がん検診精検受診率(%)	事業評価実施前年度数値(X線検査)	—	目標	—	55.0	60.0
				実績	—	59.1	60.4
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	—	4,564	3,304
		都道府県支出金	—	1,244	1,759
		その他	—	9,765	5,988
	一般財源 (a)	—	617,941	413,728	
支出	直接事業費 (b)	—	593,627	382,023	
	職員人件費 (c)	—	37,762	41,184	
		業務量 (人)	—	4.78	5.28
	間接費 (d)	—	3,784	1,572	
	調整額 (e)	—	4,302	5,016	
	減価償却費	—	0	0	
	金利	—	0	0	
	退職給与引当	—	4,302	5,016	
	(控) コスト対象外	—	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	—	637,816	429,795	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	がん検診受診者数（胃がん・子宮頸がん・肺がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん検診）		
実績数値 (g)	—	161,037	130,666
単位あたり区単コスト (a/g)	—	3,837	3,166
単位あたりコスト (f/g)	—	3,961	3,289

実施状況に対する評価	<p>前年度に引き続き、乳がん検診対象年齢前の30歳と35歳の女性に対して、乳がんのセルフチェックができる自己触診用グローブを配布して、乳がんセルフチェックの重要性を啓発した。また、乳がん検診・子宮頸がん検診は、令和元年度では受診勧奨をしても受診しない対象者に対して再勧奨はがきを送付して、受診率の向上を図ったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出により、無料クーポン券対象者への勧奨のみとした。がん検診は、特定健診等と同時に受診できない、単独で実施する胃がん健診内視鏡検査や乳がん検診、子宮頸がん検診の受診率が下がった。</p> <p>がん検診精度管理委員会では、肺がん検診部会と乳がん検診部会を開催し、がん検診の精度管理の向上を図った。がん患者支援のための相談窓口設置については、関係団体と検討した。</p>
今後の方向性【改善】	<p>今後も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、がん検診を安全に実施できる体制について、医師会と協働して実施する。</p> <p>また、がん予防に関する普及啓発、がん検診の受診率向上、精度管理委員会の効果的な運営、がん患者の支援・相談体制の充実を図り、がん対策を総合的に推進していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	長寿歯科健康診査						担当部	健康部		関係課	—																																																																																
							担当課	健康づくり課																																																																																			
開始年度	平成25年度						個別計画	—																																																																																			
根拠法令	地域保健法、歯科口腔保健の推進に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律、葛飾区長寿歯科健康診査事業実施要綱																																																																																										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	7																																																																																	
事務事業目的	長寿歯科健診を実施することにより、区民の歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上を図る。																																																																																										
実施内容	<p>【概要】 長寿歯科健診にて口腔内診査及び口腔機能診査を実施することにより、区民の口腔の健康状態を把握し、歯周病等の歯科疾患及び口腔機能低下の予防や早期発見等に努める。加えて、口腔機能の維持向上を図るため、口腔機能維持のためのフォロー教室を実施する。</p> <p>【活動内容】 1. 長寿歯科健康診査 葛飾区歯科医師会に委託して実施 対象者：実施年度中に76歳・81歳になる区民 ※R2年度は対象年齢移行期のため81歳のみ R1年度までは実施年度中に75歳になる区民 実施期間：10月及び11月（2か月間） 実施場所：区内指定歯科医療機関（167か所） 受診方法等：対象者全員に受診票を送付し、実施場所で受診 健診内容：問診、口腔内診査、口腔機能診査、健診結果の判定、健診結果に基づく歯科保健指導 健診費用：無料</p> 2. 口腔機能維持のためのフォロー教室 対象者：長寿歯科健康診査受診者及び65歳以上の区民 実施回数等：2回（11～3月の間）、1回定員20人 実施場所：健康プラザかつしか、金町保健センター 受講方法等：長寿歯科健診受診者へ健診実施歯科医師から受講勧奨及び広報紙での公募（65歳以上の区民） 内 容：歯科医師会歯科医師による講話 常勤歯科衛生士による実習 受講費用：無料 ※R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法及び内容等を変更して実施 お口の体操の動画配信																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">指標の根拠</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">H30</th> <th style="text-align: center;">R1</th> <th style="text-align: center;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">受診率</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">受診者数÷対象者数×100</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">22.0</td> <td style="text-align: center;">21.5</td> <td style="text-align: center;">21.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">19.1</td> <td style="text-align: center;">19.3</td> <td style="text-align: center;">20.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">かかりつけ歯科医をもっている区民の割合</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">長寿歯科健診受診者問診結果</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">85.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">87.2</td> <td style="text-align: center;">84.2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診やクリーニング等を受けている区民の割合</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">長寿歯科健診受診者問診結果</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">57.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">活動</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">受診者数</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">1,210</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">900</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">1,029</td> <td style="text-align: center;">888</td> <td style="text-align: center;">779</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">活動</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">フォロー教室受講者数</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>												指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2	成果	受診率	受診者数÷対象者数×100	%	目標	22.0	21.5	21.5	実績	19.1	19.3	20.1	成果	かかりつけ歯科医をもっている区民の割合	長寿歯科健診受診者問診結果	%	目標	—	—	85.8	実績	87.2	84.2	—	成果	かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診やクリーニング等を受けている区民の割合	長寿歯科健診受診者問診結果	%	目標	—	—	—	実績	—	—	57.3	活動	受診者数	—	人	目標	1,210	1,000	900	実績	1,029	888	779	活動	フォロー教室受講者数	—	人	目標	—	—	—	実績	38	38	7	—	—	—	—	目標	—	—	—	実績	—	—	—
指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2																																																																																				
成果	受診率	受診者数÷対象者数×100	%	目標	22.0	21.5	21.5																																																																																				
				実績	19.1	19.3	20.1																																																																																				
成果	かかりつけ歯科医をもっている区民の割合	長寿歯科健診受診者問診結果	%	目標	—	—	85.8																																																																																				
				実績	87.2	84.2	—																																																																																				
成果	かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診やクリーニング等を受けている区民の割合	長寿歯科健診受診者問診結果	%	目標	—	—	—																																																																																				
				実績	—	—	57.3																																																																																				
活動	受診者数	—	人	目標	1,210	1,000	900																																																																																				
				実績	1,029	888	779																																																																																				
活動	フォロー教室受講者数	—	人	目標	—	—	—																																																																																				
				実績	38	38	7																																																																																				
—	—	—	—	目標	—	—	—																																																																																				
				実績	—	—	—																																																																																				

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	130	177	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	366	524	1,532
	一般財源 (a)	12,437	10,504	8,854	
支出	直接事業費 (b)	11,601	10,073	9,095	
	職員人件費 (c)	1,264	1,027	1,248	
		業務量 (人)	0.16	0.13	0.16
	間接費 (d)	68	105	43	
	調整額 (e)	160	117	152	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	160	117	152	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	13,093	11,322	10,538	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	受診者数 (人)		
実績数値 (g)	1,029	888	779
単位あたり区単コスト (a/g)	12,086	11,829	11,366
単位あたりコスト (f/g)	12,724	12,750	13,528

実施状況に対する評価	<p>令和2年度は例年と対象年齢が異なるため単純な比較はできないが、受診率は上がった。受診勧奨チラシの受診票送付時の同封や、実施開始を6月から10月へ変更、コロナ禍を踏まえた対応（実施歯科医療機関における感染防止策の徹底、受診控えしないよう広報紙等での周知）が受診につながったと考える。また、かかりつけ歯科医については、かかりつけ歯科医をもつだけでなく、定期的な歯科保健行動の定着が重要であることから継続した口腔の健康管理の必要性について普及啓発していく必要がある。</p> <p>フォロー教室は、新たに加えた金町保健センターでの受講希望があったことから、区民が受講しやすい環境整備はできたと考える。コロナ禍のため、公募による区民を対象としなかったことで受講者が減少した。</p>
今後の方向性【継続】	<p>かかりつけ歯科医での継続した口腔の健康管理を定着及び受診率の向上のため、広報紙や区ホームページ、SNS、電光掲示板などあらゆる媒体を活用して受診行動につながるよう情報発信する。</p> <p>フォロー教室については、令和2年度の状況を踏まえ実施方法等を検討し、受講者の増加を図る。加えて、昨年動画作成した「お口の体操」を活用し、日ごろから口腔機能の維持向上に取り組むことができるよう推進する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	葛飾区基本健康診査						担当部	健康部		関係課	—
							担当課	健康づくり課			
開始年度	平成20年度						個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	2(3)	
事務事業目的	制度上、特定健康診査・長寿医療健康診査を受診できない生活保護受給者等を対象に、年1回の健康診査受診機会を確保することにより、疾病の早期発見、早期治療に結びつける。										
実施内容	<p>【概要】 制度上、葛飾区特定健康診査・長寿医療健康診査を受診できない区民に対して、健康診査受診機会を確保し、疾病の早期発見・早期治療を図る。</p> <p>【対象者】 (1) 40歳以上の生活保護受給者及び中国残留邦人等支援給付者 (2) 40歳以上で4月2日以降の葛飾区国民健康保険新規加入者 (3) 40歳以上で4月2日以降の被用者保険（被扶養者に限る）又は、国保組合加入者</p> <p>【実施内容】 ①実施期間…6月から9月（4か月間） ②実施方法…上記（1）の該当者のうち、前年度受診者及び40歳には受診票を個別送付する。上記（2）及び（3）の該当者には広報紙等で受診希望者を募り、申込みのあった方に受診票を送付する。葛飾区医師会等へ委託し、区内指定医療機関約160カ所で行う。 ③受診料…無料 ④検査結果…各医療機関が受診者に説明する。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	受診者数	—	人	目標	2,200	2,200	2,460
				実績	2,142	2,104	2,389
活動	要医療者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	1,245	1,236	1,315
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	11,649	11,370	13,016
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	17,059	17,177	18,728	
支出	直接事業費 (b)	25,909	25,774	29,882	
	職員人件費 (c)	2,686	2,607	1,716	
		業務量 (人)	0.34	0.33	0.22
	間接費 (d)	113	166	146	
	調整額 (e)	340	297	209	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	340	297	209	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	29,048	28,844	31,953	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	延べ受診者数 (人)		
実績数値 (g)	2,142	2,104	2,389
単位あたり区単コスト (a/g)	7,964	8,164	7,839
単位あたりコスト (f/g)	13,561	13,709	13,375

実施状況に対する評価	<p>制度上、特定健康診査・長寿医療（後期高齢者）健康診査を受診できない区民を対象とした健診のため、受診者の8割以上は生活保護受給者である。令和元年度に引き続き、生活保護受給者宛てに東・西生活課から送付する封筒に健診のお知らせを印字するとともに、健診のご案内を窓口置き、ケースワーカーを通じて健診受診の働きかけおよび申し込みを受け付ける取組をしたが、生活保護受給者の健診受診率は約15.6%だった。生活習慣病の予防・改善を図るために、東・西生活課と連携し、健診を機会に健康づくりのための生活習慣の改善を働きかける必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>令和3年1月から国の「被保護者健康管理支援事業」が実施されたことに伴い、令和3年度の新たな取組として、東・西生活課から前年度未受診の生活保護受給者あてに健診案内チラシを個別送付し、受診勧奨が実施される。このため、受診者数は増加すると予想されるが、引き続き広報かつしか等を通じて健康への意識付けを行い、受診を促すとともに、生活課並びに葛飾区医師会と密に連携を取り、円滑に本健診を実施できる体制を構築していく。</p> <p>また、同じく東・西生活課において令和3年度より、前年度の健診結果から、生活習慣病予備軍にあたる生活保護受給者を保健指導に繋げる取組が開始される。当課においても本取組の今後の経過および成果を確認しつつ、東・西生活課と連携して、要医療者の減少に向けて引き続き検討と改善を行う。</p> <p>さらに、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症を踏まえた安全な健康診査実施体制についても、医師会と協議して医療機関、受診者の協力を求めていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	眼科健康診査事業					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	平成5年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法、葛飾区眼科健康診査実施要綱									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	8
事務事業目的	白内障・緑内障・糖尿病網膜症等の眼科疾患を早期に発見し、早期治療に結びつける。									
実施内容	<p>【概要】 壮年期の45歳及び罹患率の高い60歳の区民に対して、眼科健康診査を実施することで区民の眼の病気の早期発見及び早期治療を図る。</p> <p>【実施内容】 ①対象者…45歳・60歳 ②実施期間…10月から11月（2か月間） ③実施方法…対象者には9月下旬に受診票を送付し、受診勧奨を行う。葛飾区医師会に委託し、区内指定医療機関（約28か所）で実施する。 ④検査料…無料（区民の負担額なし） ⑤検査項目…矯正視力検査・精密眼圧検査・精密眼底検査・細隙燈頭微鏡検査を基本項目とし、医師の判断により眼底カメラ検査を実施する。 ⑥受診結果…各医療機関が受診者に説明。治療が必要な方には、治療や二次医療機関への紹介を行う。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	受診者数	区が把握している受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000
				実績	2,746	2,724	2,848
活動	要医療者数	区が把握している要医療者数	人	目標	—	—	—
				実績	106	113	114
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	23,434	23,945	24,916	
支出	直接事業費 (b)	22,360	22,876	23,859	
	職員人件費 (c)	1,027	1,027	1,014	
		業務量（人）	0.13	0.13	0.13
	間接費 (d)	47	42	43	
	調整額 (e)	130	117	124	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	130	117	124	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	23,564	24,062	25,040	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ受診者数（人）		
実績数値 (g)	2,746	2,724	2,848
単位あたり区単コスト (a/g)	8,534	8,790	8,749
単位あたりコスト (f/g)	8,581	8,833	8,792

実施状況に対する評価	平成30年度から令和元年度にかけて受診者の推移は横ばいだったが、令和2年度に微増となった。目標の受診率には届いていないものの、毎年一定の割合で要医療の区民を発見・指導しており、眼科疾患の早期発見・早期治療に寄与することができている。
今後の方向性【継続】	今後も広報やホームページ等を通じて健診PRに努め、受診率の向上を図ることにより、壮年期45歳および罹患率の高くなる60歳区民の眼科疾患の早期発見及び早期治療に結びつけていく。

事務事業評価表

事務事業名	健康づくり健康診査					担当部	健康部			関係課	—
						担当課	健康づくり課				
開始年度	令和2年度					個別計画	かつしか健康実現プラン				
根拠法令	健康増進法、葛飾区健康づくり健康診査実施要綱										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	2(1)	の一部
事務事業目的	生活習慣病に係る診査を行うことにより、疾病の早期発見及び早期治療を図るとともに、正しい健康習慣を確立して、生活習慣病を未然に防止する健康づくりの推進を目的とする。										
実施内容	<p>【概要】 20歳代・30歳代の若年者の健康診査の対象者および検査項目を見直し充実させ、疾病の早期発見・早期治療や生活習慣病につながる生活習慣の改善・健康意識の向上を行う。</p> <p>【対象者】 他に健診を受ける機会のない、区内在住の20歳以上39歳以下の者又は3歳未満の子を持つ父母</p> <p>【実施内容】 ①実施期間…通年 ②実施方法…広報紙等で受診希望者を募り、申込みのあった方に受診票を送付する。葛飾区医師会等へ委託し、区内指定医療機関約180カ所で行う。 ③受診料…無料 ④検査結果…各医療機関が受診者に説明する。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	受診者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	—	—	1,622
活動	要医療者数	—	%	目標	—	—	—
				実績	—	—	16.8
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	0	0	24,280
支出	直接事業費	(b)	0	0	21,082
	職員人件費	(c)	0	0	3,198
		業務量（人）	0.00	0.00	0.41
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	0	0	390
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		0	0	390
	(控) コスト対象外		0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	0	0	24,670	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	健康づくり健康診査受診者数（人）			
実績数値	(g)	2,238	2,232	1,622
単位あたり区単コスト	(a/g)	0	0	14,969
単位あたりコスト	(f/g)	0	0	15,210

実施状況に対する評価	<p>本事業再構築前の20歳代・30歳代健康診査事業と母親健康診査事業の令和元年度受診者数合計は、4,086人であった。再構築前の受診者数と比較すると減少しているが、これは、20歳、30歳、前年受診者に対する勧奨を実施しなかったことと、新型コロナウイルス感染症を警戒した受診控えが考えられる。</p>
今後の方向性【改善】	<p>令和3年度は、過度な受診控えをしないように、引き続き、区ホームページやSNSによる周知を図るとともに、20歳、30歳の節目年齢と前年度受診者に対する個別勧奨を行う。</p>

事務事業評価表

事務事業名	健康手帳					担当部	健康部	関係課	—	
						担当課	健康づくり課			
開始年度	昭和58年度					個別計画	—			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	—	款	—	項	—	目	—	説明等	—
事務事業目的	特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に資することを目的とする。									
実施内容	健康増進法第17条第1項に基づく健康増進事業であり、本人の健康記録、健診の結果等を記入するほか、健康に関する情報を掲載(A6版)。 40歳以上の希望者に、健康づくり課、青戸保健センター、新小岩保健センター、金町保健センター、水元保健センターの窓口で配布。									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	交付件数	健康手帳の窓口交付枚数	冊	目標	150	150	150
				実績	133	52	52
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	79	159	78	
支出	直接事業費 (b)	0	80	0	
	職員人件費 (c)	79	79	78	
		業務量 (人)	0.01	0.01	0.01
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	10	9	10	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	10	9	10	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	89	168	88	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	手帳配布数		
実績数値 (g)	133	52	52
単位あたり区単コスト (a/g)	594	3,058	1,500
単位あたりコスト (f/g)	669	3,231	1,692

実施状況に対する評価	<p>健康手帳は、紙方式での交付から、厚生労働省ホームページからのダウンロードにより利用を促すものと変更された。しかし、ホームページからのダウンロードは、時間の制約なく入手することができるというメリットがある反面、インターネットを利用できる環境がなかったり、インターネット操作を苦手とする方もいる。</p> <p>このため、インターネットからのダウンロードだけでなく、引き続き窓口での配布もできるようにして、区民の健康手帳入手方法の利便性継続を図ることができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>より多くの区民に健康手帳を活用していただくため、引き続き、希望者には紙方式での配布を継続するとともに、厚生労働省ホームページから健康手帳をダウンロードできることについて区ホームページ等を活用して広く周知して、自らの健康管理に役立てていただく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	骨粗しょう症検診						担当部	健康部		関係課	—
							担当課	健康づくり課			
開始年度	平成7年度						個別計画	—			
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	2(2)	
事務事業目的	骨粗しょう症を早期発見し、早期治療に結びつける。 日常生活習慣の改善や健康意識を向上させる。										
実施内容	<p>【概要】</p> <p>骨粗しょう症は、年齢や性別、遺伝、体質の他、食生活や運動不足、喫煙、過度の飲酒等の生活習慣が関係して発症するが、発症しても初期症状はない。また、症状が進行し骨がもろくなっている状態で転倒し大腿骨頸部等を骨折すると、長期入院や歩行障害、寝たきりになる可能性もある。そのため、骨密度を測定し、骨の強度を判定することで、骨粗しょう症の早期発見・早期予防に繋げる。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①対象者：区内在住の18歳以上の方 ②実施期間：通年（年間6回、各回定員30名。検査日は、前月15日号の「広報かつしか」に掲載し、周知） ③申込方法：電話での予約受付。 ④実施場所：葛飾区保健所（「健康プラザかつしか」内） ⑤実施方法：エックス線照射により骨密度を測定。併せて、骨粗しょう症の予防方法に関するパンフレットを配布するとともに、管理栄養士による栄養指導を実施している。 ⑥受診料：有料（1,120円） ⑦受診結果：検診当日に通知</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	要精密検査率	要精密検査者数／受診者数	%	目標	—	—	—
				実績	0.79	1.02	0.18
活動	受診者数（骨密度検診）	—	人	目標	800	800	700
				実績	635	486	164
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	711	544	184
	一般財源 (a)	3,117	3,231	3,489	
支出	直接事業費 (b)	391	341	466	
	職員人件費 (c)	2,528	2,449	2,652	
		業務量 (人)	0.32	0.31	0.34
	間接費 (d)	909	985	555	
	調整額 (e)	320	279	323	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	320	279	323	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	4,148	4,054	3,996	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ受診者数（人）		
実績数値 (g)	635	486	164
単位あたり区単コスト (a/g)	4,909	6,648	21,274
単位あたりコスト (f/g)	6,532	8,342	24,366

実施状況に対する評価	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために各回の定員を60名から30名に減らすとともに、通年実施していた期間を10月から3月まで短縮して6回実施した。年間180名の定員に対し164名の受診であった。</p> <p>今後も区民の健康寿命の延伸のために、骨粗しょう症検診の受診勧奨や周知を行い、検診結果に基づいて医療機関の受診や生活習慣の改善を促していく必要がある。なお、受診者は、高齢で繰り返し受ける方が多いため、若い世代にも受けてもらえるよう工夫する必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>今後は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、骨密度検診と栄養相談、栄養指導を安全に実施できる体制を検討する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、引き続き出張健康講座や地区センターまつりのほか、まちかど健康相談の実施時には、超音波式の測定器を用いた骨健康度チェックを実施し、日常生活習慣の改善や健康意識の向上につなげていく。また、骨粗しょう症検診のかつしかFM等の周知方法を検討することによって、自身の骨や骨密度に関心を持っていただき、骨粗しょう症を予防する。</p> <p>※「DXA法」：微量なX線をあてて正確な骨密度を測定する検査方法。</p>

事務事業評価表

事務事業名	施設通所者健康診査事業（障害者）					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	平成12年度					個別計画	—			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	1	目	2	説明等	2
事務事業目的	区内の障害者施設の通所者が、適切な定期健康診査を受診することにより、健康的な生活を送ることができるようにする。									
実施内容	<p>【概要】 区内の障害者施設の通所者で身体的状況等により、医療機関での健康診査が困難な者で施設でまとめて健診を希望する者の健康診査を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①実施期間 通年 ②実施場所 区内障害者施設及び 葛飾区保健所・金町保健センター ③費用 証明手数料一人あたり300円 ④検査項目 特定健康診査に準ずる内容 ⑤検査結果 施設を通じて本人に個別に渡す。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	生活習慣の改善に留意している受診者の割合	問診で生活習慣改善に留意していると回答した者 ÷ 受診者数	%	目標	51.0	55.0	55.0
				実績	54.0	53.0	55.4
活動	受診者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	771	824	906
活動	実施回数	—	回	目標	—	—	—
				実績	29	26	30
活動	実施施設	—	件	目標	—	—	—
				実績	25	27	28
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	230	239	269
	一般財源 (a)	12,199	12,578	14,381	
支出	直接事業費 (b)	9,928	10,315	11,880	
	職員人件費 (c)	2,370	2,370	2,184	
		業務量（人）	0.30	0.30	0.28
	間接費 (d)	131	132	586	
	調整額 (e)	300	270	266	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	300	270	266	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	12,729	13,087	14,916	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	受診者数（人）		
実績数値 (g)	771	824	906
単位あたり区単コスト (a/g)	15,822	15,265	15,873
単位あたりコスト (f/g)	16,510	15,882	16,464

実施状況に対する評価	<p>問診で生活習慣改善に留意していると回答した受診者の割合は、昨年度と比べて2.4ポイント増加し、健康に対する意識も高まっていると考えられる。</p> <p>また、平成30年度より、回診式レントゲン機器等の導入を実施し、受診しやすい健診環境を整えたことや施設数も増えているため、受診者数も増加傾向にある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>車いす使用や、寝たきり、慣れない場所で大声を出してしまうなど、身体・知的・精神に障害のある方が、無理なく健康診査を受診できる機会を提供するために必要な事業である。</p> <p>健診実施方法が適切かどうか、本事業対象施設より意見を収集するなどして、健診の流れ等について、引き続き検討する。また、本事業対象施設と連携して、障害のある方が、日頃から、かかりつけ医をもち、地域において各々の加入する保険者等の制度の中で健診が受けられるよう促していくことが必要である。</p>

事務事業評価表

事務事業名	生活習慣病予防教室					担当部	健康部		関係課	—
						担当課	健康づくり課			
開始年度	平成27年度					個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	2(6)
事務事業目的	地域の健康課題に沿った生活習慣病対策の健康講座を実施し、健康について考え、自分自身や家族の健康づくりを実践していく区民を増加させる。									
実施内容	<p>糖尿病、脳卒中、心臓病、脂質異常症、高血圧、肥満、がんなどの生活習慣病について、区民向けの講座を実施する。</p> <p>毎年2月の生活習慣病予防月間、毎年9月のがん征圧月間及び健康増進普及月間、毎年11月の糖尿病予防月間等の国の健康普及啓発運動と講演会開催に協力いただく協働団体と調整しながら、地域の健康課題に沿ったわかりやすく区民が参加しやすい健康講座を実施する。</p> <p>1 対象者 一般区民 2 実施場所 保健所 3 周知方法 広報かつしか、区ホームページ、案内チラシ</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	講座参加者のアンケート （「良かった」「まあまあ良かった」の割合）	%	目標	90	95	95
				実績	92.3	95.8	44.0
活動	生活習慣病健康講座の参加者数	—	人	目標	120	120	120
				実績	50	132	41
活動	生活習慣病健康講座の実施回数	—	回	目標	2	2	2
				実績	1	2	1
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	345	386	223	
支出	直接事業費 (b)	46	101	67	
	職員人件費 (c)	158	158	156	
		業務量 (人)	0.02	0.02	0.02
	間接費 (d)	141	127	0	
	調整額 (e)	20	18	19	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	20	18	19	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	365	404	242	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	生活習慣病健康講座の参加者数 (人)		
実績数値 (g)	50	132	41
単位あたり区単コスト (a/g)	6,900	2,924	5,439
単位あたりコスト (f/g)	7,300	3,061	5,902

実施状況に対する評価	<p>参加者に対するアンケートでは、「良かった」と答えた方は44%で、昨年度と比較すると大きく満足度を下げてしまった。オンラインによる初めての教室開催であったが、一時、オンライン上、音声途切れる場面があったことなどが影響しているものと考えられる。改善に向けて検討する必要がある。</p> <p>実施回数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度まで協働していた関係団体（1団体）から辞退の申し出があり、教室開催回数は目標を達成することができなかった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>これまでの教室内容については満足度が高い状況であったことから、引き続き、協働団体とテーマと内容について検討するとともに、教室実施のチラシ配布についてもご協力いただき実施する。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた方法のひとつとして、オンラインによる開催が必要な状況となることが想定されるため、協働団体と連携しながら開催に向けて十分な準備を行う。</p>

事務事業評価表

事務事業名	成人歯科健康診査						担当部	健康部	関係課	—
							担当課	健康づくり課		
開始年度	平成4年度						個別計画	—		
根拠法令	地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律、葛飾区成人歯科健康診査事業実施要綱									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	6
事務事業目的	成人歯科健診を実施することにより、区民の歯周病等の歯科疾患を予防し口腔の健康の保持増進を図る。									
実施内容	<p>【概要】 成人歯科健診を実施することにより、区民の口腔の健康状態を把握し、歯周病等の歯科疾患の予防や早期発見等に努める。加えて、かかりつけ歯科医をもち定期的に受診するなど区民の歯科保健行動の定着を図る。</p> <p>【活動内容】 葛飾区歯科医師会に委託して実施 対象者：実施年度中に40歳, 45歳, 50歳, 55歳, 60歳, 65歳, 70歳になる区民 実施期間：6～9月(4か月間) ※R2年度は9～12月に変更 実施場所：区内指定歯科医療機関(169か所) 受診方法等：対象者全員に受診票を送付し、実施場所で受診 健診内容：問診、口腔内診査、健診結果の判定、健診結果に基づく歯科保健指導 健診費用：無料</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	喫煙が歯周病のリスクであることを知っている区民の割合	成人歯科健診受診者問診結果	%	目標	52.0	52.0	52.0
				実績	45.6	47.1	50.5
成果	かかりつけ歯科医をもっている区民の割合	成人歯科健診受診者問診結果	%	目標	71.0	70.0	70.0
				実績	67.6	68.4	—
成果	かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診やクリーニング等を受けている区民の割合	成人歯科健診受診者問診結果	%	目標	—	—	—
				実績	—	—	47.5
成果	受診率	受診者数÷対象者数×100	%	目標	16.5	16.5	16.5
				実績	15.1	14.7	15.4
活動	受診者数	—	人	目標	7,650	7,425	7,425
				実績	6,743	6,613	6,644
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	688	470	786
		都道府県支出金	8,783	8,502	9,603
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	54,583	54,734	54,445	
支出	直接事業費 (b)	61,306	60,960	61,716	
	職員人件費 (c)	2,686	2,686	3,042	
		業務量 (人)	0.34	0.34	0.39
	間接費 (d)	62	60	76	
	調整額 (e)	340	306	371	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	340	306	371
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	64,394	64,012	65,205	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	受診者数 (人)		
実績数値 (g)	6,743	6,613	6,644
単位あたり区単コスト (a/g)	8,095	8,277	8,195
単位あたりコスト (f/g)	9,550	9,680	9,814

実施状況に対する評価	<p>受診率は前年度より上がった。実施期間の1か月延長やコロナ禍を踏まえた対応（実施歯科医療機関での感染防止策の徹底、受診控えしないよう広報紙等で周知）が受診につながったと考える。</p> <p>「喫煙が歯周病のリスクであることを知っている区民」は前年度より上がった。受診票送付時に同封する受診勧奨チラシや広報紙での特集記事、区民ホールの電光掲示板といった媒体活用により区民の目に触れる機会を多くしたためと考える。また、かかりつけ歯科医については、かかりつけ歯科医をもつだけではなく継続した口腔の健康管理も必要であることを普及啓発する必要がある。</p>
今後の方向性【継続】	<p>かかりつけ歯科医での継続した口腔の健康管理の定着と更なる受診率向上のため、広報やホームページ、フェイスブック、電光掲示板などあらゆる媒体を活用して受診行動につながるよう歯科保健情報を発信していく。加えて、歯周病が及ぼす全身への悪影響について知識の普及を図る。</p>

事務事業評価表

事務事業名	特定健康診査追加検査						担当部	健康部		関係課	—
							担当課	健康づくり課			
開始年度	平成21年度						個別計画	かつしか健康実現プラン			
根拠法令	健康増進法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	2(6)	
事務事業目的	医療保険者が実施する被用者保険被扶養者等の特定健康診査に、葛飾区国民健康保険の特定健康診査と同内容の区独自検査を追加することにより、疾病の早期発見に結びつける。										
実施内容	<p>【概要】 区内在住の葛飾区国民健康保険以外の医療保険加入者の被扶養者および国保組合の加入者が特定健診を受診する際、葛飾区独自の国保の被保険者と同等の追加検査を受診できるように特定健康診査追加検査を実施する。</p> <p>【実施内容】 ①実施期間 6月～11月 ②実施方法 区医師会への委託契約により、区内約160か所の医療機関で実施。受診者は、特定健康診査追加検査実施医療機関にて、医療保険者が実施する特定健康診査を受診する際に申込み、受診する。 ③受診費用 無料 ④健診結果 医療機関から受診者に健診結果を個々に説明。 健診結果のデータは医療機関から区に取り纏めて報告され、健診データの整理、委託料の支払いを行う。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	広報かつしか掲載回数	—	回	目標	2	2	2
				実績	2	1	1
活動	受診者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	1,689	1,766	1,763
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	5,391	5,154	5,475	
支出	直接事業費 (b)	4,091	4,326	4,294	
	職員人件費 (c)	1,264	790	1,170	
		業務量（人）	0.16	0.10	0.15
	間接費 (d)	36	38	11	
	調整額 (e)	160	90	143	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	160	90	143	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	5,551	5,244	5,618	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ受診者数（人）		
実績数値 (g)	1,689	1,766	1,763
単位あたり区単コスト (a/g)	3,192	2,918	3,106
単位あたりコスト (f/g)	3,287	2,969	3,187

実施状況に対する評価	<p>受託医療機関において、被用者保険等、葛飾区国民健康保険以外の特定健康診査受診者が来院した場合、葛飾区の住民でないと判明していないすべての人に追加検査の資料を手渡して本制度を案内していただくという運用方法により強く勧奨したことで、コロナ禍においても前年と同程度の受診者数を維持することができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>協会けんぽ等への周知を行い、他の保険者と葛飾区国民健康保険が実施する健診内容の差を埋めるためにも引き続き利用勧奨を実施する。</p>

施策 番号	0104	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策 名	食育を通じて、心身と もに健康で豊かに生活 できるようにします	食育に関心を持っている 区民の割合	%	目標	70.0	70.0	70.0
				実績	64.5	65.6	67.1
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	かつしかの元気食堂推進事業	健康づくり課	◎	68
		親と子の食育推進事業	健康づくり課	◎	70
		食育月間等普及啓発	健康づくり課	◎	72

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します

事務事業評価表

事務事業名	かつしかの元気食堂推進事業					担当部	健康部		関係課	保健センター
						担当課	健康づくり課			
開始年度	平成25年度					個別計画	葛飾区食育推進計画			
根拠法令	食育基本法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	1(1)
事務事業目的	区民が身近な飲食店で栄養バランスの整った食事がとれるよう、健康づくりのための食環境整備に取り組むとともに、食育の情報提供を行う。									
実施内容	<p>【概要】 健康づくりの観点から外食の食環境をより一層整備するため、栄養バランスの整った食事と健康情報を提供する「かつしかの元気がでる食堂」、健康的な食事の量や味付けなどが選択できる「わたしの街のえらべる食堂」、一定量の野菜を使用した料理がある「プラス一皿の野菜料理があるお店」のほか「かつしかの元気なお弁当、おそうざい店」を「かつしかの元気食堂」として認定し、PRする。また、「かつしかの元気食堂」を広くPRするために食育ボランティアの育成を進める。</p> <p>【活動内容】（令和2年度） ① 「かつしかの元気食堂」推進協議会の実施 ② 「かつしかの元気食堂」認定、更新 ③ ヘルシーメニューの作成・配布、販売会の実施 ④ 店舗情報を広報とホームページに掲載 ⑤ 食育ボランティアの定期的な連絡 ⑥ 「かつしか知っ得メモ」の作成と普及 ⑦ かつしかの元気な食 応援店(かつしか知っ得メモ設置店)の登録 *平成24年度までの食育サポーター事業を、本事業に統合した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	「かつしかの元気食堂」数	「元気がでる食堂」「わたしの街のえらべる食堂」「プラス一皿の野菜料理があるお店」の飲食店登録の延べ数	店	目標	108	125	143
				実績	113	124	124
成果	食育ボランティア登録数	食育ボランティア登録者の延べ人数	人	目標	32	32	32
				実績	26	29	29
活動	かつしかの元気食堂協議会	—	—	目標	実施	実施	実施
				実績	実施	実施	実施
活動	ガイドラインの評価・改定	—	—	目標	評価・改定	評価・改定	評価・改定
				実績	評価	評価	改定
活動	かつしかの元気な食 応援店(旧 食育サポート店)数	—	店	目標	290	300	310
				実績	290	289	279

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	2,758	2,086	2,446
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	15,366	16,190	9,720	
支出	直接事業費 (b)	6,116	5,873	3,671	
	職員人件費 (c)	12,008	12,403	7,878	
		業務量 (人)	1.52	1.57	1.01
	間接費 (d)	0	0	617	
	調整額 (e)	1,520	1,413	960	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	1,520	1,413	960	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	19,644	19,689	13,126	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	「かつしかの元気食堂」 + 「応援店」 (店数)		
実績数値 (g)	403	413	403
単位あたり区単コスト (a/g)	38,129	39,201	24,119
単位あたりコスト (f/g)	48,744	47,673	32,571

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、かつしかの元気食堂及び、かつしかの元気な食 応援店の積極的な新規獲得は実施しなかったため、認定店舗数は増加しなかった。</p> <p>令和2年度は食育ボランティアの活動を縮小していたため、新規の募集はしなかった。</p> <p>年2回の協議会うち、1回は会場で、1回は書面開催として開催できた。</p> <p>協議会において、令和3年度からはかつしかの元気食堂を全店全面禁煙とすることとし、ガイドラインを改定した。</p> <p>店舗の閉店などにより、かつしかの元気食堂も応援店も、実店舗数は減少傾向にある。</p>
今後の方向性【継続】	<p>これまで認定店舗数の増加を目標にしていたが、今後は店舗へのフォロー体制を整備し、栄養成分表示を全店舗に実施するなど、提供する健康的なサービスの質の向上を推進していく。</p> <p>食育ボランティアとして、他事業とも絡めて新規募集し、区民からも情報発信を担ってもらえるよう働きかけを行っていく。</p> <p>店舗にも区民にもわかりやすい事業展開を目指していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	親と子の食育推進事業					担当部	健康部			関係課	保健センター、 保育課
						担当課	健康づくり課				
開始年度	平成20年度					個別計画	葛飾区食育推進計画				
根拠法令	食育基本法										
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	1(2)	
事務事業目的	保育園等と連携して保護者と園児を対象に事業を実施し、園及び家庭における食育を推進する。										
実施内容	<p>【概要】 家庭及び保育園等での食育推進を目的に、園児の保護者に対する食育教室を実施するとともに園児への食育の取組支援として、職員向け講習会の実施や指導媒体の貸し出し及び教材の提供等を行う。</p> <p>【活動内容等】 ①園児の保護者に対して、保健所職員が保育園等へ出向いて、食事バランスガイドや家庭での食育の取組等について教室を実施する。 ②保育園等の職員に対して、幼児向け食事バランスガイド等を利用した園児への指導方法について講習会を実施する。 ③保育園等へ幼児向け食事バランスガイドコマ等の指導媒体の貸し出しや料理シールなどの指導教材を提供し、保育園等での園児に対する食育の取組を支援する。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	保護者向け教室参加者アンケート（「参考になった」「だいたい参考になった」と回答した人の割合）	%	目標	90.0	90.0	90.0
				実績	94.1	95.0	—
活動	保護者向け教室参加人数	—	人	目標	300	300	300
				実績	266	280	—
活動	保護者向け教室実施回数	—	回	目標	22	22	22
				実績	20	20	—
活動	幼児向け教室参加人数	—	人	目標	2,800	2,800	2,800
				実績	2,185	2,332	2,044
活動	幼児向け教室実施回数	—	回	目標	150	150	150
				実績	129	135	140
活動	指導媒体貸し出し回数	—	回	目標	150	150	150
				実績	129	135	140

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	215	170	171
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	12,290	4,203	3,709	
支出	直接事業費 (b)	497	502	308	
	職員人件費 (c)	12,008	3,871	3,510	
		業務量 (人)	1.52	0.49	0.45
	間接費 (d)	0	0	62	
	調整額 (e)	1,520	441	428	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	1,520	441	428	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	14,025	4,814	4,308	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数 (保護者向け教室+幼児向け教室) (人)		
実績数値 (g)	2,451	2,612	2,044
単位あたり区単コスト (a/g)	5,014	1,609	1,815
単位あたりコスト (f/g)	5,722	1,843	2,108

実施状況に対する評価	<p>新型コロナ感染拡大のため、園に職員が出向いて行う保護者向け教室は実施しなかった。幼児向け教室については、指導者向けの説明会は実施せず区HP等での資料提供とし、年度の途中から各園への教材の提供、貸出を実施したが、ほぼ例年並みの実施数であった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>今後は、人を集めて実施する食育指導者説明会や保護者向け教室の開催ではなく、マニュアルや資料の配布、HP上での情報提供など他の方法での食育を実施していく。保護者向けへの食育として、3歳児健診に来所の機会をとらえて親子で楽しみながら実施できる教材とともに資料提供し、家庭での食育を促していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	食育月間等普及啓発						担当部	健康部	関係課	保健センター
							担当課	健康づくり課		
開始年度	平成21年度						個別計画	葛飾区食育推進計画		
根拠法令	食育基本法									
予算説明書	会計	一般	款	5	項	2	目	3	説明等	1(3)
事務事業目的	区民が食育を理解し、取り組むために必要な情報を、様々な機会や手段で提供する。									
実施内容	<p>【概要】 区民に対して、食育月間や各種イベントなどの機会をとらえて、食育に関する様々な情報を発信し、理解と取組を促すことを目的に実施する。</p> <p>【活動内容等】 ①6月の食育月間に、区民ホールや中央図書館などでパネル等の展示を行うとともに、広報紙やかつしかFMで食育に関する事業や月間の取組等を紹介する。 ②健康・食育フェアを食育推進ネットワークと協働で開催し、様々な分野における食育の取組を紹介する。(令和2年度中止) ③産業フェア、消費生活展などのイベントに参加して、パネル等の展示やクイズを実施する。(令和2年度はパネル展示、書面資料提供のみ) ④ホームページで食育情報を発信する。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	朝食の欠食割合	乳幼児健診時に実施する保護者を対象とした朝食摂取状況アンケート	%	目標	25.1	25.1	25.1
				実績	27.0	26.9	25.3
活動	イベント参加者数	—	人	目標	5,000	5,000	5,000
				実績	5,392	3,328	—
活動	パネル展等実施回数	—	回	目標	15	15	15
				実績	16	16	4
活動	食育コンテンツ更新回数	—	回	目標	40	40	65
				実績	62	68	65
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	164	137	47
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	5,585	6,349	1,463	
支出	直接事業費 (b)	377	324	106	
	職員人件費 (c)	5,372	6,162	1,404	
		業務量（人）	0.68	0.78	0.18
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	680	702	171	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	680	702	171	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	6,429	7,188	1,681	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	イベント参加者数（人）		
実績数値 (g)	5,392	3,328	—
単位あたり区単コスト (a/g)	1,036	1,908	—
単位あたりコスト (f/g)	1,192	2,160	—

実施状況に対する評価	<p>朝食の欠食率が例年よりも目標値に近づいた。しかし、朝食の摂取状況アンケートを実施していた乳幼児健診が、一部外部委託となり、3歳児健診でのアンケート結果のみ集計したため、一概に朝食欠食率が下がったとは言い切れない。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため、各イベントが中止や縮小になり、イベントでの食育普及啓発を例年通り実施できなかった。</p> <p>併せて、パネル展示の機会も減少した。一部実施したが、人が集まって密にならないよう、広報等での周知はしなかった。</p> <p>代替として、ホームページの内容を充実・整理して情報をまとめ、食育に関するページの全体的な更新を行い、広報等で周知した。</p>
今後の方向性【改善】	<p>イベントの来場者をターゲットにするのではなく、今後も広報やHPを活用しながら広く普及啓発していく。既存の事業などと連動させながら、機会を確保していく。</p>